

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あつたがわかりゅうだいに 厚田川下流第二 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、厚田郡厚田村の厚田川下流第二川に位置し、下流には農地や町道また人家があり、降雨時に溪岸浸食により不安定土砂が流出し、農地や水路に被害をもたらした。 このため、溪岸の安定を図ることにより、農地等の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.02ha（丸太積土留工）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	2,404 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 107 千円 災害防止便益 19,871 千円 計 19,978 千円	
	分析結果（B / C）	8.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 降雨の度に溪岸浸食が広がっており、このまま放置すれば今後の融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、不安定土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～20年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>もいわした</small> 藻岩下 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、札幌市南区藻岩山北斜面の麓に位置し、直下には国道230号、事業所があり、国土保全上重要な地区であるが、現地は岩盤の風化が著しく降雨時には小規模な落石が発生していた。 このため、崩壊地の復旧と山腹斜面の安定を図ることにより、国道等の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.11ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	125,223 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	874 千円	
	環境保全便益	10,741 千円	
	災害防止便益	269,527 千円	
	計	281,142 千円	
	分析結果（B / C）	2.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：崩壊した山腹の状況から、このまま放置すれば今後の融雪、豪雨等により落石が懸念されることから、下流施設の保全のために当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、山腹の安定が図られ下流施設の安全確保が図られることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17～20年度（4年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	もんべつざわ 紋別沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、千歳市の紋別川上流に位置し、下流にはサケ・マスふ化場や人家がある。降雨時に溪岸浸食により奥地に崩壊地が発生し、今後も降雨により崩壊地の拡大が懸念されている。</p> <p>このため、治山工事を実施することにより山腹崩壊地の拡大、溪岸浸食を防止し、奥地保安林機能の高度発揮を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>溪間工</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.15ha</td> </tr> </table>			溪間工	1基	山腹工	0.15ha
溪間工	1基						
山腹工	0.15ha						
費用対効果分析	総費用（C）	33,318千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	913千円				
		災害防止便益	67,561千円				
		計	68,474千円				
	分析結果（B / C）	2.06					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：山腹斜面の崩壊状況から、そのまま放置すれば崩壊地の拡大が懸念されることから、水土保持機能の高度発揮のために当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能の確保が図られることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 						

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	たばたのさわ 田畑の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は夕張市南部に位置し、古第3期幌内層頁岩、泥岩により構成されており風化が激しく山腹の崩壊が発生している。発生した崩壊地上部には人家や国道があり、今後の融雪や豪雨等で崩壊地が拡大し人家等に被害を与える恐れがある。</p> <p>このため、山腹工を実施し崩壊地の復旧と拡大の防止を図るため実施するものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.13ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,846 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,347 千円
		災害防止便益	88,521 千円
		計	89,868 千円
	分析結果（B / C）	3.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹の崩壊の状況からそのまま放置すれば、融雪や降雨等により、崩壊地が拡大し人家や国道に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧がなされ、崩壊地上部の人家や国道の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	じすべりのさわ 地滑りの沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 空知森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、三笠市の中央部に位置する箇所であり、現地は渓床内に不安定土砂が堆積し、豪雨や融雪期には土砂の流出が懸念されている。また地域住民から濁水の流入防止対策についての要請も受けている。</p> <p>このため、渓間工等を実施し、水土保持機能の維持・向上を図るため実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>渓間工</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.24ha</td> </tr> </table>			渓間工	1基	山腹工	0.24ha
渓間工	1基						
山腹工	0.24ha						
費用対効果分析	総費用（C）	20,192千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	4,779千円				
		災害防止便益	54,305千円				
		計	59,084千円				
	分析結果（B/C）	2.93					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹の崩壊や渓岸の浸食また渓床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に土砂が流出し、下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂の安定及び流出の抑制が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 						

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ぬまのさわ 沼の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、穂別町北西部に位置し、直下流には穂別ダム及び道央と道東を結ぶ大動脈国道274号があり、国土保全上重要な地域であるが、豪雨の浸透水により地すべり性山腹崩壊が発生し、既設流路工が破壊されたため、増水時の流水により当該箇所が洗掘され、下流の穂別ダムへの土砂流出が発生した。また、穂別ダムへ流入する濁水を抑制する観点から治山事業及び森林整備事業の積極的な推進について穂別町から要請されている。</p> <p>このため、渓岸部である山脚を固定し山腹斜面の安定を図り水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p style="margin-left: 20px;">主な事業内容 山腹工0.08ha（土留工、ボーリング暗渠工外）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,000 千円	
	総便益（B）	721 千円	
	災害防止便益	66,767 千円	
	計	67,488 千円	
	分析結果（B / C）	2.70	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： このままの状態では放置すれば、山腹崩壊が拡大し、既設物の更なる破壊、下流への土砂流出による被害が懸念されること、また穂別町からの要請があることから早期の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により既設構造物の維持はもとより、山腹斜面の安定により水土保持機能の維持・向上が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に最適な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ペンケオロロツバさわ （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 胆振東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、穂別町北部に位置し、国有林林道及び道央と道東を結ぶ大動脈国道274号と近接している。この箇所は、融雪により山腹崩壊が発生したため平成15年度に災害関連緊急事業で山腹基礎工を施工したが、施工斜面が植生により被覆されておらず、表面水による浸食が進んでいる状況である。 このため、早期に山腹斜面の安定を図る必要があるため実施するものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.50ha（伏工）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	39,423 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,216 千円
	山地保全便益	76,916 千円	
	計	81,132 千円	
	分析結果（B / C）	2.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 施工斜面の表面浸食をそのまま放置すれば、表層崩壊を誘発するだけでなく、基礎工により安定した山腹斜面の再崩壊を招き、近接の林道及び国道施設への影響も懸念されることから早期の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により山腹基礎工の機能維持はもとより、山腹斜面の安定が持続的に図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に最適な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	べんけめうしゅないざわ ペンケメウシュナイ沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は沙流郡平取町の沙流川支流糠平川に位置し、下流には糠平林道がある。この林道は日本の100名山として知られる幌尻岳への登山道としても利用され、地元自治体等の主催で登山が行われ毎年3,000人以上が通行している。平成15年8月の台風10号に伴う豪雨により多量の土砂が流出し、林道を決壊させる被害をもたらした箇所で、上流には山腹崩壊や溪岸浸食、また溪床には多量の不安定土砂が堆積しており、降雨時等に土砂流出が発生した場合、林道を遮断する恐れが大きいとして平取町より早期復旧の要望がある。</p> <p>このため、溪床の安定を図り土砂の流出を防止し、下流部の保全を図るため実施するものである。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	23,632 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,266 千円
		災害防止便益	47,690 千円
		計	54,956 千円
	分析結果（B / C）	2.33	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 崩壊地や溪床に堆積する不安定土砂の状況から、このまま放置すれば下流への土砂の流出による施設への被害の発生が懸念されることから水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いざわのさわ 伊澤の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は沙流郡日高町字千栄中部に位置し、三島集落に隣接しており、直下には牧場、町道がある。この箇所は、平成13年8月の台風10号により発生した流下水により民有地の山腹崩壊と下流の牧場に被害をもたらした。このまま放置しておけば豪雨等により、崩壊の拡大と新たな崩壊地の発生が懸念される箇所であり、平成15年の台風10号に伴う豪雨の発生以降地元から早期復旧の要望が出されている。</p> <p>このため、上流部の治山施設の早期概成が必要であり、平成18年度に日高町で実施予定の小規模治山事業施設との連携により水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,577 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,158 千円
		災害防止便益	34,064 千円
		計	36,222 千円
	分析結果（B / C）	3.42	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大、土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧及び溪床に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	はなさきのさわ 花咲の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は沙流郡日高町の沙流川支流千呂露川に位置し、下流には町道、採草地がある。この箇所は、平成15年8月の台風10号により多量の土砂が流出し、下流の採草地に被害をもたらした。また、渓床には不安定土砂が堆積しており、降雨時等には土砂流出により、採草地、町道への大規模な被害を及ぼす恐れが大きいとして日高町等から早期復旧の要望がある。</p> <p>このため、渓床の安定を図り土砂の流出を防止し、下流部の保全を図るため実施するものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 4基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	33,781 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,580 千円
		災害防止便益	87,051 千円
		計	90,631 千円
	分析結果（B / C）	2.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂の状況から、そのまま放置すれば下流への土砂の流出による施設への被害の発生が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ふたつぼさわ フタツボ沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>フタツボ沢とペンケヤルカラウシ沢は、平成15年の台風10号起因の山腹崩壊により、不安定土砂が広範囲に亘って溪床に厚く堆積したため、今後増水時には下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがある。なお、崩壊地は地理的条件が厳しい奥地であり、露岩状でかつ崩壊規模が大きいので、山腹工に着手することは施工性の観点から困難となっている。</p> <p>このため、溪間工を優先して流出土砂対策を行い水土保持機能の向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 6基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	84,463 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	32,783 千円
	災害防止便益	158,968 千円	
	計	191,751 千円	
	分析結果（B / C）	2.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：平成15年の台風10号の起因により溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、今後の増水時には下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがあることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	チャラセ左沢 <small>ちゃらせひだりさわ</small> （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 日高南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>チャラセ左沢は、平成15年の台風10号起因の山腹崩壊により、不安定土砂が広範囲に亘って溪床に厚く堆積し、4基の既設溪間工（S33、34年度施工）は埋没寸前であり、今後の増水時には不安定土砂が容易に移動する恐れがある。</p> <p>なお、崩壊地は地理的条件が厳しい奥地であり、露岩状でかつ崩壊規模が大きいため、山腹工に着手することは施工性の観点から困難となっている。</p> <p>このため、溪間工を優先して流出土砂対策にあたり、水土保持機能の向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	43,846 千円	
	総便益（B）	559 千円	
	水源かん養便益	100,907 千円	
	災害防止便益	計 101,466 千円	
	分析結果（B / C）	2.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：平成15年の台風10号起因により不安定土砂が溪床内に厚く堆積し、今後の増水時に下流の保全対象に被害を与える恐れがあるため、当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ぬのびきざわ 布引沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、融雪期や豪雨時に土砂流出により、下流域の施設にたびたび被害を与えている箇所であり、今後も融雪や豪雨等により不安定土砂が流出する恐れがある。</p> <p>このため、渓間工を実施し不安定土砂の流出防止と土石流による溪流の荒廃を防止するものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	11,538 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,434 千円
		災害防止便益	26,230 千円
		計	27,664 千円
	分析結果（B / C）	2.40	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：融雪及び豪雨による土砂流出の状況から、放置すれば今後の融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ひがしこたん</small> 東古丹 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、平成11年8月の集中豪雨により溪岸浸食が拡大して土石流が発生し、下流の農地に土砂が流出する被害を与えた。当該溪流は、溪流が蛇行し山脚部が浸食された溪岸浸食型崩壊地であり、苫前町からも対策の要請が出ている。このため、河川の流路の固定と縦横浸食を防止し、国道や農地の保全を図るため実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,000 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,786 千円
		災害防止便益	76,565 千円
		計	80,351 千円
	分析結果（B / C）	3.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：融雪期や豪雨時に土砂が流出している状況であり、今後の降雨等により農地等に被害を与える恐れがあるため、当事業の実施が必要である。 ・有効性：当事業の実施により、土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性：当事業の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ばんけがわ パンケ川 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は名寄川、名寄川パンケ地区流域に位置し、下流域には道道があり、国土保全上重要な地域であるが、近年の豪雨等により山腹斜面の崩壊や溪岸の浸食で、溪床内には随所に不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨や融雪等により土砂が流出して下流域に被害を及ぼす恐れが大きい。</p> <p>このため、治山事業の実施により溪床荒廃地の復旧と不安定土砂の安定を図り、道道の保全及び水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工（床固工 4基、木製護床工 2基）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	50,925 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	45,332 千円
		山地保全便益	92,432 千円
		計	137,764 千円
	分析結果（B/C）	2.71	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば豪雨等の際に土砂が流出し、下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の安定により流出の抑制が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備(国有林)	事業計画期間	平成17～21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>みなみしょうのもり</small> 南小の森 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、稚内市街地の南東部に位置する風景林で、市街地に近いことから市民の憩いの場となっており、散策する入り込み者も数多く見られる。当該地区下流部には、稚内市が整備したテニスコート等の施設のある公園があるほか、国有林内を活用した近隣小学校による野外学級活動や魚の放流も行われている。</p> <p>このため、風景林の整備を目的に散策路や森林の整備を図り、市民に憩いの場を提供し、市民参加型の森林整備事業等を展開し、地域住民の生活環境の保全に資するために実施するものである。</p> <p style="margin-left: 20px;"> 主な事業内容 植栽工(防風柵含) 6.2ha 道路補修 500m 保育 43.4ha 付帯施設整備(ベンチ敷設外) 本数調整伐 1.1ha 作業道新設 7,000m 歩道新設 2,300m </p>		
費用対効果分析	総費用(C)	396,109 千円	
	総便益(B)	903,961 千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 計	483,653 千円 4,901 千円 1,392,515 千円	
	分析結果(B/C)	3.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 過去に発生したといわれる大火(明治)により、森林は荒廃し笹生地が多く見受けられることから、下流域への良質な水資源の確保、水土保持機能の維持・向上、環境の保全のためにも、本事業は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、荒廃森林の復旧が図られ、環境の保全、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17～21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	おおさわかわちく 大沢川地区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 宗谷森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、礼文島中央部から北方へ流下する大沢川にある礼文町船泊地区住民の生活用水取水口の上流部に位置し、既設道路からの距離、狭隘地等地理的条件から発生源対策が施工できずにいた。今後の降雨等により崩壊地が拡大し、土砂が保全対象に流出して被害を与える恐れがある。</p> <p>このため、山腹工を実施し、崩壊地拡大を防止することにより健全な森林を造成し水土保持機能の高度発揮を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.20ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	45,123千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	671千円
		災害防止便益	104,124千円
		計	104,795千円
	分析結果(B/C)	2.32	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば豪雨等の際に崩壊地が拡大し、下流域に被害を及ぼすことが懸念されることから、水土保持機能の高度発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が高度発揮されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	1251りんばんざわ 1251林班沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、勇払郡占冠村の双珠別川上流の農地に隣接し、蛇紋岩を含む脆弱な地質で、平成15年の10号台風等により、山腹崩壊と溪床内に堆積した土砂が保全対象まで流出する災害が発生した。今後の降雨等により崩壊地が拡大し、崩壊した土砂が流出して人家や農地等に被害を与える恐れがあり、占冠村からも対応を望まれている。</p> <p>このため、山腹崩壊の防止、溪床勾配の緩和を目的に溪間工、山腹工を計画して、崩壊地の復旧整備を実施することにより、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 山腹工 0.12ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	31,324 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,167 千円
		災害防止便益	83,638 千円
		計	90,805 千円
	分析結果（B / C）	2.90	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 融雪及び豪雨による土砂流出の状況から、放置すれば直下の人家及び農地等への被害の発生が懸念されることから、地域住民の民政の安定を図るためからも当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、山腹崩壊地の復旧及び土砂流出防止が図れることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上に効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おあたぎのさわ 大滝の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別郡白滝村南部に位置し、平成14年5月の融雪災害で渓岸浸食及び土砂流出により下流の林道が決壊流出する被害が発生した。また今後の融雪や豪雨等においても新たな被害の発生が懸念されている。 このため渓床内に堆積している多量の不安定土砂の流出を抑制し保安林機能の増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基 山腹工 2基（土留工）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	94,185 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	24,271 千円
		災害防止便益	170,458 千円
		計	194,729 千円
	分析結果（B / C）	2.07	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓流に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	たつしざわ 立牛沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署西紋別支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、紋別市南部、渚滑川支流藻別川下流部に位置し、下流域には道道があり国土保全上重要な地域である。 沢沿いの一部の急斜面には崩壊地があり、溪床には多量の不安定土砂が堆積しているため、融雪期及び降雨時には不安定土砂の流出により下流域に被害をもたらす恐れがある。 このため、治山事業の実施により土砂の流出を抑止し、災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	8,654 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,117 千円
		災害防止便益	27,819 千円
		計	29,936 千円
	分析結果（B / C）	3.46	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地や溪床に堆積する不安定土砂の状況から、そのまま放置すれば崩壊地の拡大、土砂の流出による被害が懸念されることから、災害を予防し、国土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床に堆積する土砂の安定及び荒廃地の復旧が図られ、国土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	むかがわほんりゅう 無加川本流 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、常呂郡留辺蘂町西部、常呂川支流無加川上流部に位置し、下流域には国道39号があり国土保全上重要な地域であるが、山腹崩壊や渓岸浸食により不安定土砂が随所に堆積しており、今後の豪雨や融雪等による土砂流出によって下流域に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、治山事業の実施により土砂の流出等を抑止し下流の国道等の保全及び水土保全機能維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 13基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	181,331 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	33,412 千円
		災害防止便益	359,147 千円
		計	392,559 千円
	分析結果（B / C）	2.16	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓岸浸食や渓床に堆積した不安定土砂の状況から、放置すれば今後の融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いけだのさわ 池田の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、常呂郡留辺蘂町北部、常呂川支流サマケサロマ川上流部に位置し、山腹崩壊や溪岸浸食が著しく不安定土砂が随所に堆積しているため、今後の豪雨や融雪等により土砂の流出で下流の林道への被害や水土保持機能の低下が危惧されている。</p> <p>このため、治山事業の実施により土砂の流出等を抑止し下流の林道の保全及び水土保持機能維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	39,423 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	5,383 千円
		災害防止便益	83,458 千円
		計	88,841 千円
	分析結果（B / C）	2.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸浸食や溪床に堆積した不安定土砂の状況から、放置すれば今後の融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～21年度（5年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	いくしなかいがん 以久科海岸 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、斜里町西部に位置し、以久科の海岸に沿う形で存在する保安林で自然砂丘を形成している。これら自然砂丘の海岸に面した箇所は、長年の波浪・風食などによる経年変化により部分的には5mを超える崖面を形成している。崖面の荒廃部が崩壊を起こした場合、背後に位置する町道や水産加工施設に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、崖面の前方部に鋼矢板土留工等を実施し、崩壊の防止と植生基盤の形成を図ることにより、山地災害防止機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>鋼矢板土留工</td> <td>900m</td> </tr> <tr> <td>布団籠護岸工</td> <td>50m</td> </tr> </table>			鋼矢板土留工	900m	布団籠護岸工	50m
鋼矢板土留工	900m						
布団籠護岸工	50m						
費用対効果分析	総費用（C）	305,052 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	62,692 千円				
		環境保全便益	12,889 千円				
		災害防止便益	580,019 千円				
		計	655,600 千円				
	分析結果（B / C）	2.15					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：砂丘面の崖が保安林外まで拡大している状況から、放置すれば保全対象である町道や水産加工施設に被害を及ぼす可能性があることから保安林機能の向上のために当該事業の実施が必要である。 ・有効性：当該事業の実施により、崩壊地の復旧、斜面の安定が図られ山地災害防止機能等が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 						

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	まつもとざわ 松本沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は白糠郡白糠町中部、茶路川支流縫別川中流部に位置し、下流域には町道、農地がある。この地域一帯は古第3紀層砂岩を基岩とする脆弱な地質であり、近年の豪雨等による山腹斜面の崩壊で溪床に不安定土砂が堆積していることから今後の融雪、豪雨等で土砂流出により下流施設へ被害を与える恐れがある。このため、溪間工を実施し土砂の流出防止と溪床の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	22,788 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,690 千円
		災害防止便益	51,474 千円
		計	54,164 千円
	分析結果（B / C）	2.38	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況等から、放置すれば土砂流出による下流施設への被害が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業実施により溪岸荒廃の復旧、下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的、効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	夕映川 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は川上郡弟子屈町東部、鑑別川支流夕映川上流部に位置し、下流域には阿寒湖畔と川湯、摩周湖等を結ぶ国道241号（通称：阿寒横断道路）がある。近年の豪雨等により山腹斜面の崩壊で溪床に不安定土砂が堆積したため、今後、融雪や豪雨等により溪床荒廃が拡大し土砂が流出して下流の施設へ被害を与える恐れがある。</p> <p>このため、溪間工を実施し土砂の流出防止と溪床の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,231 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,830 千円
		災害防止便益	35,768 千円
		計	38,598 千円
	分析結果（B / C）	2.01	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況等から、放置すれば土砂流出による下流施設への被害が懸念されることから、下流域の保全等のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業実施により溪岸荒廃の復旧、下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的、効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>あいどまり</small> 相泊 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は知床国立公園内にあり、道東屈指の観光地であるとともに漁業が盛んであり、漁業従事者の所有する番屋が多く立ち並んでいる。この一帯は知床山脈と根室海峡に挟まれた急峻な地形で地質も脆く、例年豪雨や融雪期に落石が発生しており、平成16年の融雪時には小規模ではあるが表層面の土砂崩れが発生し、落石により直下の人家の壁が損傷を受けている。また、今後の融雪、豪雨等において、山腹崩壊地が拡大し直下の人家等に被害を及ぼすおそれがある。このため、山腹工を実施し下流の施設の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 鋼製土留工 1基 落石防止柵 30基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	48,077 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	962 千円
		災害防止便益	105,213 千円
		計	106,175 千円
	分析結果（B / C）	2.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 崩壊した山腹の状況から、放置すれば土砂崩落により人家等に被害を与えることが懸念されることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業実施により山腹の安定化が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的、効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備促進（国有林）		事業計画期間	平成17～20年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しゅんがりこたん 春刈古丹 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 根釧東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は羅臼町にある春刈古丹川の中流部に位置し、対象区域全域が土砂流出防備保安林に指定されている。春刈古丹川下流周辺の集落にはサケ・マスふ化場があるほか、河口付近にはサケ・マスの捕獲場があるなど、保全上重要な流域となっている。当該地域は厳しい気象条件等により、過去に植栽した造林木が被害を受け疎林となった箇所や一部未立木地化した箇所があり、天然更新による成林が期待できない状況にあるほか、河岸沿いでは林分が過密化して下層植生が乏しく表土流出のおそれのある箇所が見られる。</p> <p>このため、点在する未立木地における健全な森林の造成や路網の整備を図り、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵44ha、植栽44ha、保育132ha、本数調整伐35ha 管理車道新設2,800m・補修4,000m</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	71,073 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	164,736 千円	
		災害防止便益	373,949 千円	
		計	538,685 千円	
	分析結果（B/C）	7.58		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林の現況から、森林整備を行わなければ土砂流出等により下流域の保全に影響が出ることが懸念されるため本事業の実施は必要である。 ・有効性： 事業実施により森林の整備、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的、効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 			

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ろくのさわ 六の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、足寄郡足寄町北部に位置し、過去の台風、集中豪雨等により溪岸の浸食が発生し、溪床内に多量の不安定土砂が堆積している。 この地域一帯は中生層粗粒砂岩を基岩とする脆弱な地質であり、今後の融雪、豪雨により溪岸浸食が拡大し、不安定土砂の流出により、下流の農地や道道に被害を与えるおそれがある。 このため、溪間工を実施して土砂流出の防止と溪流荒廃の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	11,442 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	13,485 千円
		山地保全便益	30,336 千円
	計	43,821 千円	
	分析結果（B / C）	3.83	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内の不安定土砂の状況から、放置すれば融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の検討に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおいしのさわ 大石の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中川郡本別町に位置し、過去の台風、集中豪雨等による溪岸浸食により、溪床内には多量の不安定土砂が堆積している。 この地域一帯は熔結凝灰岩を基岩とする脆弱な地質であり、今後の融雪、豪雨等により溪岸浸食が拡大し、不安定土砂の流出により、直下の林道に被害を与えるおそれがある。 このため、土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図る目的で溪間工を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,942 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	614 千円
		災害防止便益	35,768 千円
		計	36,382 千円
	分析結果（B / C）	2.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の検討に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くんたるしびいざわ クンタルシブイ沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、中川郡本別町に位置し、過去の台風、集中豪雨等による溪岸浸食により、溪床内には多量の不安定土砂が堆積している。 この地域一帯は熔結凝灰岩を基岩とする脆弱な地質であり、今後の融雪、豪雨等により溪岸浸食が拡大し、不安定土砂の流出により、直下の人家及び道道に被害を与えるおそれ大きい。 このため、溪間工を実施し土砂流出の防止と溪流荒廃地の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	22,596 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	11,710 千円
		災害防止便益	55,138 千円
		計	66,848 千円
	分析結果（B / C）	2.96	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内の不安定土砂の状況から、放置すれば融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の検討に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	るのちしほるしゅべつがわ ルノチシホルシュベツ川 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、足寄郡足寄町東部に位置し、中生層粗粒砂岩を基岩とする脆弱な地質であり、上流には小規模な崩壊地がある。今後の融雪、豪雨等により崩壊地の拡大、溪岸の浸食により不安定土砂が堆積し、直下の町道に被害を与えるおそれがある。</p> <p>このため、治山事業の実施により崩壊地の拡大及び土砂流出を防止し災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	12,019 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	16,504 千円
		山地保全便益	36,841 千円
		計	53,345 千円
	分析結果（B / C）	4.44	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 現地の状況から、このまま放置すれば融雪、豪雨等により崩壊地の拡大、溪流の荒廃により堆積した不安定土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 溪岸の崩壊、浸食の防止により、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ししちのさわ 支七の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、広尾郡大樹町南部、紋別川上流部に位置し、近年の豪雨等により山腹面の崩壊や溪岸の浸食が見られ、溪床内の随所に不安定土砂が堆積している。今後の融雪、豪雨等によりこれらの土砂が流出し直下の林道に被害を与えるおそれが大きい。</p> <p>このため、溪間工を実施し土砂流出の防止と荒廃溪流の復旧を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,250 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,185 千円
		災害防止便益	28,614 千円
		計	35,799 千円
	分析結果（B / C）	2.20	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹の崩壊や溪岸の浸食、また溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば融雪や豪雨等の際に崩壊地の拡大や土砂流出による下流域への被害の発生が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しょうとくよんのさわ 昭徳四ノ沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は広尾郡大樹町南部に位置し、過去の集中豪雨等において溪岸の浸食が発生し、溪床内に多量の不安定土砂が堆積している。今後の融雪や豪雨等により溪岸浸食が拡大し不安定土砂の流出により、直下の林道及び橋梁に被害を与える恐れが大きい。</p> <p>このため、溪間工を実施し水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	30,769 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	9,861 千円
		山地保全便益	197,154 千円
		計	207,015 千円
	分析結果（B / C）	6.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば融雪や豪雨等の際に、土砂流出による下流域への被害が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、荒廃地の復旧や溪床に堆積する不安定土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	カムメロベツ川支流 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は広尾郡広尾町豊似川支流に位置し、直下には下豊似林道、農地がある。近年の融雪、豪雨等により山腹斜面の崩壊や溪岸浸食がみられ、溪床には不安定土砂が堆積しているため、今後の融雪、豪雨等により溪床の不安定土砂が流出して、直下の林道や農地に被害を与えるおそれがある。</p> <p>このため、溪間工を実施し、不安定土砂の流出防止と山脚の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,038 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	10,130 千円
		災害防止便益	98,573 千円
		計	108,703 千円
	分析結果（B / C）	7.74	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸の崩壊や浸食、溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば、融雪や豪雨等の際に土砂が流出して、下流域に被害を及ぼすことや崩壊地の拡大が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しらかばのさわ シラカバの沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>当地区は河東郡上士幌町の十勝川水系音更川上流に位置し、直下には国道273号がある。この国道は、帯広市と旭川市また層雲峡を結ぶ道路として、また温泉などの観光地も控え観光シーズンには、観光バス等の往来も多いことから重要な幹線道路となっている。上流には崩壊地が存在し、渓床には不安定土砂が堆積しているため、融雪や豪雨等による土砂流出での国道への被害が懸念されている。</p> <p>このため、渓間工を実施し、下流の保全対象である国道の安全確保と水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,173 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,032 千円
		災害防止便益	57,229 千円
		計	59,261 千円
	分析結果（B / C）	3.26	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おそし オソウシ川 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>当箇所は上川郡新得町の十勝川上流に位置し、下流には北海道電力のオソウシ発電所施設がある。平成14年10月の台風により上流部や支流に多くの崩壊地が発生し、渓床には不安定土砂が堆積しているため、下流の発電用貯水池への土砂の流入や発電施設への被害も懸念される。</p> <p>このため、渓間工を実施し、発電施設や人家の保全また、水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	93,055 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	14,127 千円
		山地保全便益	293,963 千円
		計	308,090 千円
	分析結果（B / C）	3.31	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば融雪、豪雨等により土砂の流出が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	じんやのさわ 陣屋の沢 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は寿都湾に面する海岸段丘の急崖地で、下流域には、人家、町道があり国土保全上重要な地域であるが、上流部には山腹崩壊地が発生しており、これから供給された土砂が不安定に堆積しているため、今後の豪雨や融雪等により土砂が流出して下流域に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、治山事業の実施により渓流荒廃地の復旧と不安定土砂の安定を図り、人家や町道の保全及び水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 5基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	27,544 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,498 千円
	災害防止便益	257,287 千円	
	計	259,785 千円	
	分析結果（B / C）	9.43	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床内に堆積している不安定土砂の状況から、放置すれば土砂及び汚濁水の流出が懸念されることから、水土保全機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床の不安定土砂の安定等により下流域の保全等が図られ、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ますだりよかんうら 升田旅館裏 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は新第3紀層の風化した集塊岩地帯であり、段丘斜面上には不安定な状態で転石が点在しており、融雪、降雨時等に直下の保全対象に被害を与える恐れがある。</p> <p>このため治山事業の実施により落石を防止し人家及び国道等への災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 落石防止網工 1箇所</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	7,212 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,892 千円
		災害防止便益	91,183 千円
		計	93,075 千円
	分析結果（B / C）	12.91	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹斜面に不安定な状態で転石等が堆積しており、放置すれば直下の人家等に被害を与える恐れがあることから、下流域の保全、保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業実施により山腹斜面からの落石対策を実施することにより、下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	予防治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	かりまたたくちく 苅又宅裏 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は新第3紀層の風化した集塊岩地帯であり、段丘斜面上には不安定な状態で転石が点在しており、融雪、降雨時等に直下の保全対象に被害を与える恐れがある。 このため治山事業の実施により落石を防止し人家及び国道等への災害を未然に防ぐものである。</p> <p>主な事業内容 落石防止網工 1箇所</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	6,731 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	1,862 千円
		災害防止便益	96,523 千円
		計	98,385 千円
	分析結果(B/C)	14.62	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹斜面に不安定な状態で転石等が堆積しており、放置すれば直下の人家等に被害を与える恐れがあることから、下流域の保全、保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業実施により山腹斜面からの落石対策を実施することにより、下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法が検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほんちょうちく 本町地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は奥尻島の中心地奥尻町本町地区に位置しており、直下には奥尻町の公共の交通機関である公営バスの車庫と整備工場、また人家がある。 平成16年9月の台風により山腹崩壊が発生し、不安定土砂が上流部に堆積しているため、豪雨時等には不安定土砂や汚濁水の流出が懸念されている。 このため、治山事業の実施により、山腹の安定と不安定土砂流出を防止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 鋼製砕土留工 2基 緑化工 0.75ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	42,308 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,975 千円
		災害防止便益	616,647 千円
		計	621,622 千円
	分析結果（B / C）	14.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹斜面に不安定な状態で転石・不安定土砂が堆積しており、放置すれば直下の公共施設や人家に被害を与える恐れがあることから、下流域の保全、保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により山腹斜面からの落石による災害が防がれ、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しみずちく 清水地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は厚沢部町、八雲町を結ぶ道道67号線沿いに位置している。この道道67号線は厚沢部町と隣接町村を結び生活には欠かせない幹線道路であるとともに、国道5号（八雲・森）が交差していることから災害時等（駒ヶ岳噴火）における迂回路としても重要な位置付けになっている。</p> <p>計画箇所は平成16年の融雪に伴い、渓流の荒廃が進み多量の土砂が発生したため溪床には厚く不安定土砂が堆積しているため、今後の降雨等で荒廃地の拡大と土砂流出の恐れがある。</p> <p>このため、溪間工を実施し、道道の保全及び水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	46,981 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 19,246 千円 災害防止便益 105,714 千円 計 124,960 千円	
	分析結果（B / C）	2.66	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓流に多量の不安定土砂が堆積しており、放置すれば土砂の流出が懸念されることから、下流域の保全、保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により溪床に堆積している不安定土砂の安定が図られ、水土保全機能の向上と下流域の保全が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17～19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かみのさわちく 上の沢地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は日本海に注ぐ天の川上流域に位置しており、現地は疎林状態で下層は広くチシマザサに被われているため天然更新が期待できない状況である。 このため、地表かき起こし、植付等を行い、健全な森林を造成し水土保持機能の高度発揮を図るものである。</p> <p>主な事業内容 地拵 28ha、植付 28ha、下刈り 24ha 木柵工 300m、丸太筋工 500m 歩道新設 1,500m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	40,934 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	162,088 千円
		山地保全便益	218,779 千円
		計	380,867 千円
	分析結果（B / C）	9.30	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 笹により天然更新が妨げられ、また疎林状態となっている林分の状況から、水土保持機能の維持・向上のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施によって水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）		事業計画期間	平成17～21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	みずほりちく 水堀地区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は渡島半島南西部で檜山管内の日本海に面し、この海岸の後方には集落及び穀倉地帯が連なっている。この海岸林は明治初期の乱伐に端を発し、厳しい季節風により森林が衰退し砂漠化が進んだことから、背後にある水堀地区等の田畑の一部が不毛地帯となる被害が発生した。このため、昭和10年より実施された緑化事業により飛砂による被害が緩和され、地域住民による飛砂に対する関心が強まった。このことにより残地及び裸地の早期復旧が強く要請されているとともに、これまで地元住民、児童、生徒を対象に森林教室等を実施し、当該海岸防災林の重要性等について啓発活動を行っている。今回の計画は前砂丘の一部は既成しているが、未整備地区からの飛砂による浸食が発生していることから、前砂丘を造成し、砂地の安定を図るとともに、後方の内陸側既施工地については保育と併せて三角防風柵の設置と補植等により森林の造成に努めクロマツ一斉林の適正な密度管理を行い針広混交林に誘導し飛砂防備機能の維持・向上、生活環境の保全・形成を図るものである。</p> <p>主な事業内容 前砂丘造成 885m、三角防風柵設置 1,500基、保育等 69.50ha 本数調整伐 30.00ha</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	204,449 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	554,424 千円	
		環境保全便益	347,348 千円	
		災害防止便益	229,645 千円	
		計	1,131,417 千円	
	分析結果（B / C）	5.53		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 飛砂による浸食が進行している状況から、このまま放置すれば森林の衰退により周辺施設への被害が発生することから保安林機能発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施によって飛砂防備機能の維持・向上、生活環境の保全が図られることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 			

事前評価個表

事業名	限界状態設計法等実証（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	湯の里地区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は上磯郡知内町西部に位置し、平成12年9月の豪雨により土砂と流木が多量に流出した箇所である。上流部は山腹崩壊と渓岸浸食が著しく、渓床内には多量の土砂が不安定に堆積しているため、今後の豪雨等により土砂流出による下流部への被害が懸念される。</p> <p>このため、渓床の安定を図り土砂の流出を抑止し下流部の保全を図るため実施するものである。また当事業は、「林野公共事業コスト構造改革プログラム」を踏まえ、限界状態設計手法等に基づく工事を実証し、現場における施工性、安全性等の検証を行うことにより、今後の円滑な治山施設の整備に資することを目的とするものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,423 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,980 千円
		災害防止便益	26,230 千円
	計	30,210 千円	
	分析結果（B / C）	2.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 崩壊地や渓床に堆積する不安定土砂の状況から、このまま放置すれば下流への土砂の流出による施設への被害の発生が懸念されることから水土保持機能の維持・向上のために当事業が必要であるとともに、限界状態設計手法等に基づく工事により現場における施工性、安全性等の検証のためにも必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、渓床に堆積する不安定土砂の流出防止を図ることができ、水土保持機能が維持・向上されること、また現場における施工性等の検証を行うことにより技術基準、標準歩掛等に反映させることができることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、新たな設計手法により、現地の状況に応じた最も効率的かつ効果的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	たんばさわ 丹波沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は大鰐町西部に位置し、豪雨等により山腹面に多数の崩壊が生じ、その後の豪雨・融雪等により拡大傾向にあり、荒廃地は裸地状態にある。このため、崩壊地の早期緑化により崩壊地の拡大及び土砂流出の防止を図り、下方の林道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 1.0 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,615千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,971千円
	山地保全便益	79,810千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	84,781千円	
	分析結果（B/C）	8.82	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	とうないさわ 藤内沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は深浦町北部に位置し、下流には深浦町北金ヶ沢地区の簡易水道施設があり、集落住民の重要な水源流域であり、下流水田のかんがい用水としても利用されているが、豪雨等により、溪岸崩壊が発生し溪床には不安定土砂が堆積している状況にある。</p> <p>このため、溪岸崩壊の拡大及び不安定土砂の流出を防止し、水道施設、人家等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	23,077千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,414千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 128,318千円 計 130,732千円	
	分析結果（B/C）	5.67	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～19年度 (3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>くくりざか</small> 久栗坂 (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 青森森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、青森市北東部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.03 ha 森林整備 6.4 ha</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	22,201 千円	
	総便益 (B)	水源かん養便益	117,475 千円
		山地保全便益	30,118 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	147,593 千円
	分析結果 (B / C)	6.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	さんたろうさわ 三太郎沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は大畑町中央部に位置し、平成14年の台風21号に伴う豪雨により、倒木等が下流へ流出し漁業施設等へ被害を与えた。渓床内には倒木等が堆積しており、今後の豪雨等により下流域へ流出する恐れがある。</p> <p>このため、渓間工を設置し、下流への倒木等の流出を防止し、下流域の保全及び民生の安定を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,346千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,585千円
	山地保全便益	63,434千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	66,019千円	
	分析結果（B/C）	4.04	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床内の状況から、放置すれば倒木等が下流へ流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、渓床内の倒木等の流出防止が図られ、下流域の保全及び民生の安定が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>こんどうがわ</small> 近藤川 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は大畑町中央部に位置し、平成14年の台風21号に伴う豪雨により、倒木等が下流へ流出し漁業施設等へ被害を与えた。渓床内には倒木等が堆積しており、今後の豪雨等により下流域へ流出する恐れがある。</p> <p>このため、渓間工を設置し、下流への倒木等の流出を防止し、下流域の保全及び民生の安定を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,346千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,377千円
	山地保全便益	82,884千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	86,261千円	
	分析結果（B/C）	5.28	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床内の状況から、放置すれば倒木等が下流へ流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、渓床内の倒木等の流出防止が図られ、下流域の保全及び民生の安定が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	たへえまわ 太兵工沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は大畑町中央部に位置し、平成14年の台風21号に伴う豪雨により、倒木等が下流へ流出し漁業施設等へ被害を与えた。渓床内には倒木等が堆積しており、今後の豪雨等により下流域へ流出する恐れがある。</p> <p>このため、渓間工を設置し、下流への倒木等の流出を防止し、下流域の保全及び民生の安定を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,231千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,107千円
	山地保全便益	76,254千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	79,361千円	
	分析結果（B/C）	4.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床内の状況から、放置すれば倒木等が下流へ流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、渓床内の倒木等の流出防止が図られ、下流域の保全及び民生の安定が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひがしまたさわ 東又沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は川内町南西部に位置し、平成16年の台風21号に伴う豪雨により、倒木等が下流へ流出し漁業施設等へ被害を与えた。渓床内には倒木等が堆積しており、今後の豪雨等により下流域へ流出する恐れがある。</p> <p>このため、渓間工を設置し、下流への倒木等の流出を防止し、下流域の保全及び民生の安定を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,346千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,358千円
	山地保全便益	60,561千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	62,919千円	
	分析結果（B/C）	3.85	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床内の状況から、放置すれば倒木等が下流へ流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、渓床内の倒木等の流出防止が図られ、下流域の保全及び民生の安定が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～19年度 (3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	なかのまたさわ 中ノ股沢 (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、東通村南部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.03 ha 森林整備 100 ha</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	25,828 千円	
	総便益 (B)	水源かん養便益	178,148 千円
		山地保全便益	42,026 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	220,174 千円
	分析結果 (B / C)	8.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度～平成18年度（2年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	尻高沢 <small>しりたかさわ</small> （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 三八上北森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当地区は田子町中央部に位置し、平成16年4月の融雪期に山腹斜面が崩壊し、土砂が民有地へ流出する被害が発生し、町道が通行止めとなった。なお、崩壊地の下部には不安定土砂が堆積した状況にあり、豪雨等により不安定土砂が下流域へ流出する恐れがある。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡止及び堆積した不安定土砂の流出を防止し、町道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.2 ha</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	26,553 千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,863 千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>72,338 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74,201 千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,863 千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	72,338 千円	計	74,201 千円
	水源かん養便益	1,863 千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	72,338 千円												
計	74,201 千円												
分析結果（B/C）	2.79												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し堆積した不安定土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 												

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おさたきさわ オサタキ沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 三八上北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、天間林村東部、高瀬川水系坪川、天間ダムの上流に位置し、平成14年8月の豪雨により溪岸崩壊が発生し、溪床には不安定土砂及び倒木が堆積し、豪雨等により不安定土砂等が天間ダムへ流出する恐れがある。このため、溪岸崩壊の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂等の流出を防止し、下流域の天間ダム等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	11,538千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,029千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 27,819千円 計 29,848千円	
	分析結果（B/C）	2.59	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床の不安定土砂等の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂等の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ねにそこさわ 猫底沢 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、川井村東部に位置し、平成13年9月の豪雨により山腹崩壊が発生し崩壊土砂が溪床に堆積し不安定な状況となっている。</p> <p>このため、崩壊の拡大及び表面浸食を防止し、下流の林道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	2,404千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	277千円
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	5,611千円	
	計	5,888千円	
	分析結果（B/C）	2.45	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況及び溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、土砂崩壊防止機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～19年度 (3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	とどやま 鮎山 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、宮古市南東部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.03 ha 森林整備 60 ha</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	22,201 千円	
	総便益 (B)	水源かん養便益	135,020 千円
		山地保全便益	26,010 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	161,030 千円
	分析結果 (B / C)	7.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	あつぼやま 小坪山 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 三陸中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、陸前高田市西部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.02 ha 森林整備 3.2 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	9,615 千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	81,438 千円
		山地保全便益	14,112 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	95,550 千円
	分析結果(B/C)	9.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～18年度 (2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	しらいがわ 白井川 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 盛岡森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、玉山村東部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 ha 森林整備 4.1 ha</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	18,861 千円	
	総便益 (B)	水源かん養便益	86,655 千円
		山地保全便益	17,116 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	103,771 千円
	分析結果 (B / C)	5.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	白沢 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は花巻市北西部に位置し、平成14年9月の豪雨により山腹崩壊が発生し、崩壊土砂は下方の林道まで達し林道が通行不能となった。山腹法面には不安定土砂が堆積している状況にあり、今後の降雨等により崩壊地が拡大するとともに堆積した不安定土砂が流出する恐れがある。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積した不安定土砂の流出を防止し、林道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.15 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,423 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,922 千円
	山地保全便益	30,046 千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	31,968 千円	
	分析結果（B/C）	2.22	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し堆積した不安定土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	森林水環境総合整備(国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～平成21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	ながの 長野 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署遠野支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、遠野市南東部長野川の最上流部に位置し、下流には地区の水道施設等があり遠野市の重要な水源地となっている。</p> <p>しかし、平成14年7月の台風に伴う豪雨により、山腹崩壊が発生し多量の土砂と倒木が流出し、下流の水道施設に被害を与えた。なお、溪流沿いには小規模な崩壊地が点在し、溪床には不安定土砂が多量に堆積している状況にある。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、下流の水道施設等の保全及び荒廃森林の整備を行い、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 谷止工 9基 山腹工 2箇所 森林整備 184ha 管理車道 2,000m</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	226,870千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	1,085,712千円
		山地保全便益	千円
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	1,085,712千円	
	分析結果(B/C)	4.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されることから、森林の持つ公益的機能の増進を図るため、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧、溪床の安定、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに地域住民の民生の安定が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度～19年度 (3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	^{にしな} 西内 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署遠野支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、遠野市北東部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.04 ha 森林整備 100 ha</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	25,937 千円	
	総便益 (B)	水源かん養便益	176,587 千円
		山地保全便益	50,223 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	226,810 千円
	分析結果 (B / C)	8.74	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度～平成19年度（3年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>がんにゅう</small> 岩入 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当地区は鳴子町北東部に位置し、平成15年5月の地震により山腹斜面に地すべりが発生し、災害関連事業で地すべり対策を施工したが、荒廃地の不安定斜面の崩壊、表面浸食及び溪岸侵食が進行し下流域に被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、荒廃地の緑化及び溪岸浸食による崩壊を防止し、農地、県道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 3.00ha 護岸工 112m</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	33,070千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>26,731千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>291,455千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>318,186千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	26,731千円	山地保全便益	291,455千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	千円	計	318,186千円
	水源かん養便益	26,731千円											
山地保全便益	291,455千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	千円												
計	318,186千円												
分析結果（B/C）	9.62												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況及び溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 												

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	^{くろもり} 黒森 (宮城県)	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、加美町西部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.06 ha 森林整備 27 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	7,692千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	63,172千円
		山地保全便益	12,691千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	75,863千円
	分析結果(B/C)	9.86	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度～平成19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いたやまわ イタヤ沢 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 仙台森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は七ヶ宿町南西部に位置し、平成16年7月の豪雨により山腹崩壊が発生し大量の倒木と土砂が流出し、下流の林道が通行止めとなる被害が発生した。なお、溪流沿いには小規模な崩壊地が点在し、溪床には不安定土砂が多量に堆積している。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、林道、国道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基 山腹工 0.05ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	79,683千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 23,682千円 山地保全便益 311,424千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 千円 計 335,106千円	
	分析結果（B/C）	4.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床の状況から、放置すれば崩壊地の拡大及び堆積した不安定土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧及び溪床内に堆積する不安定土砂等の流出防止が図られ、水土保持機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成年度17～平成19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ふどうまわ 不動沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は鷹巣町北部に位置し、平成16年9月の豪雨等により山腹崩壊が発生し、崩壊土砂及び倒木により溪流が閉塞され不安定な状況となっている。</p> <p>このため、山腹崩壊地の及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、農地、町道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 山腹工 0.45ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	85,312千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	13,028千円
		山地保全便益	175,202千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	188,230千円
	分析結果（B/C）	2.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況及び溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧及び溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保持機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	雑魚沢 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、小坂町北部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.04 ha 森林整備 1 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	7,692千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	12,033千円
		山地保全便益	千円
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	3,974千円	
	計	16,007千円	
	分析結果(B/C)	2.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うっとうないさわ 打当内沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、阿仁町中央部に位置し、平成15年8月の豪雨により山腹崩壊が発生し、林道が被災し通行不可能となるとともに、崩壊土砂が下方の阿仁川に流出した。その後の降雨等により崩壊の拡大及び法面の洗掘が進行し、下流域の県水産振興センターの取水施設等に被害が及ぶ恐れがある。このため、崩壊地の拡大及び土砂流出を防止し、取水施設等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.17ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,154千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 4,288千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 187,885千円 計 192,173千円	
	分析結果（B/C）	9.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し堆積した不安定土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	からまつさわ 唐松沢 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、阿仁町南部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 ha 森林整備 3.2 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	11,538千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	12,306千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	19,871千円
		計	32,177千円
	分析結果(B/C)	2.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業実施計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	なかのさわ 中ノ沢 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、二ツ井町南部に位置し、下流域の重要な水源地域となっているが、奥地で地形が急峻であることから豪雨等による荒廃地や荒廃森林が多く存在している。</p> <p>このため、水源地域の荒廃地等の保全対策に資するため、現地発生材を利用した工法による荒廃地の復旧と森林整備を一体に実施し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 ha 森林整備 3 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	10,577千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	9,833千円
		山地保全便益	千円
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	11,923千円	
	計	21,756千円	
	分析結果(B/C)	2.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃地及び荒廃森林の状況から、放置すれば荒廃の拡大及び土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、荒廃地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	とせ 戸瀬 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、田沢湖町北西部玉川上流部に位置し、下流には玉川ダムがある。豪雨等により溪岸崩壊が発生し、溪床には不安定土砂が堆積し、放置すれば溪岸崩壊の拡大及び不安定土砂が玉川ダムへ流出する恐れがある。このため、溪岸崩壊の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、林道、国道、玉川ダム等の保全及び保安林機能の増進を目的に事業に着手する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,269千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,609千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 49,078千円 計 51,687千円	
	分析結果（B/C）	2.83	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	やなぎさわ 柳沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署										
事業の概要・目的	<p>当地区は湯沢市南部に位置し、平成16年7月の豪雨により、山腹斜面が崩壊するとともに、崩壊土砂が下流の用水施設及び農地に流出し被害を与えた。</p> <p>このため、崩壊の拡大及び渓床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、人家や市道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基 山腹工 0.30ha</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	47,308千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>6,485千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>127,973千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>134,458千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	6,485千円	山地保全便益	127,973千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	千円	計	134,458千円
	水源かん養便益	6,485千円											
山地保全便益	127,973千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	千円												
計	134,458千円												
分析結果（B/C）	2.84												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況及び渓床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧及び渓床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 												

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	惣太沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署
事業の概要・目的	<p>当地区は羽後町中央部に位置し、平成15年8月の台風に伴う豪雨により、溪岸浸食が進行するとともに、崩壊土砂が下流の農地に流出し被害を与えた。</p> <p>このため、溪岸浸食の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、農地、人家、県道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,567千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,595千円
	山地保全便益	72,496千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	76,091千円	
	分析結果（B/C）	3.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やぶちやま 八洲山 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 由利森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は本荘市東部に位置し、平成16年8月の豪雨により、山腹斜面が崩壊するとともに、崩壊土砂が流出し、林道に被害が発生した。 このため、山腹崩壊地の拡大及び不安定に堆積している土砂の流出を防止し、林道や農地の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.34 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	40,865千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,450千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	149,145千円
		計	151,595千円
	分析結果（B/C）	3.71	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し堆積した不安定土砂等が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成17年度（1年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>どうさわ</small> 銅沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署										
事業の概要・目的	<p>当地区は、真室川町中央部に位置し、平成16年7月の豪雨により、山腹斜面が崩壊するとともに崩壊土砂が銅沢に流出し、沢を閉塞し天然ダムを形成している状況にある。</p> <p>このため、渓床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、下流域の林道、町道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 護岸工 60m</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	43,455千円											
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>17,543千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>182,476千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200,019千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	17,543千円	山地保全便益	182,476千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	千円	計	200,019千円
	水源かん養便益	17,543千円											
山地保全便益	182,476千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	千円												
計	200,019千円												
分析結果（B/C）	4.60												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床の不安定土砂の堆積状況や溪岸侵食の状況から、放置すれば土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、渓床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 												

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>なかのさわしりゅう</small> 中の沢支流 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、福島県双葉郡浪江町の西部に位置し、請戸川水系高瀬川支流の上流部に当たり、渓岸浸食により発生した不安定土砂が渓床に厚く堆積している。今後の豪雨等により、渓岸崩壊が拡大するとともに、これらの流出に伴い直下の林道及び下流域に被害を及ぼす恐れがあることから、荒廃渓流の復旧を実施し、保全機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p>渓間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	8,654千円	
	総便益(B)	9,460千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 17,487千円 26,947千円	
	分析結果(B/C)	3.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に不安定土砂や流木の堆積が見られ、下流域への土砂流出もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能の維持向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	くまだつめさわ クマダツメ沢 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、相馬市西部に所在し、滝平集落地内の上流で宇多川と合流するクマダツメ沢の中流部に位置している。下流部には、国道115号線や落合集落があるため、国有林の荒廃により保全対象に対する加害性が大きい。このため、林地荒廃に起因する不安定土砂を抑止し、渓流荒廃地の安定を図るため、実施するものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p>渓間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	25,962千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 30,766千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 36,685千円 計 67,451千円	
	分析結果(B/C)	2.60	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 上流部の不安定土砂の流出防止により、下流域の保全等保安機能の発揮のため、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、林地の山脚固定と不安定土砂の流出防止が図られ、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 工種・工法の選定に当たっては、現地に即した計画であり、最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>あかいわ</small> 赤岩 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、福島市の西北のJR奥羽本線の上流に位置する。 当該溪流は小溪流ではあるが、鉄道線路を横断しているため、融雪・豪雨時には上流の堆積土砂や流木が流出して鉄道等に被害を与える恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を図るため実施するものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	29,253千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	34,637千円
		山地保全便益	32,510千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	67,147千円
	分析結果(B/C)	2.30	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 上流部の不安定土砂の流出防止により、下流域の保全等保安機能の発揮のため、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、林地の山脚固定と不安定土砂の流出防止が図られ、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 工種・工法の選定に当たっては、現地に即した計画であり、最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	つほいやま 坪入山 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 会津森林管理署 南会津支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、福島県南西部に位置し、伊南川支流安越岐川の最上流部あたる坪入山山頂部に位置し、当該箇所に発生した山腹崩壊により、溪床には不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、崩壊地が拡大する恐れがあるため、流出土砂等の発生源である崩壊地の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p>航空実播工 1.28ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,750千円	
	総便益（B）	16,572千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 79,484千円 96,056千円	
	分析結果（B/C）	6.99	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 流出土砂の発生源である崩壊地には、現在も不安定土砂が残留堆積しているため、今後の降雨等により崩壊地が拡大し、下流に被害を与える可能性があるため、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により山腹崩壊地の安定は図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	稲沢 （福島県）	事業実施主体	関東森林管理局 棚倉森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、福島県南部に位置し、久慈川上流、稲沢川支流の最上流部稲沢に当たり、山腹斜面の崩壊発生により、溪床には不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、不安定土砂の流出に伴い下流域に被害が発生する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p>溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,462千円	
	総便益（B）	11,207千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 91,713千円 102,920千円	
	分析結果（B/C）	7.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出も見られること及び過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>やしきない</small> 屋敷内 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 塩那森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県北東部に位置し、那珂川上流に当たり、山腹斜面から落石が発生した箇所である。今後も集中豪雨等により、山腹直下の保養施設等に被害を与える恐れがあるため、山腹斜面の安定、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るため実施するものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">鋼製落石防護工 4基 山腹工 1.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	45,858千円	
	総便益（B）	55,941千円	
	山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 47,903千円 計 103,844千円		
	分析結果（B/C）	2.26	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：落石等による、山腹直下の保養施設等に被害を与える恐れがあるため、当該事業の実施は必要である。 ・有効性：当事業の実施により、落石等による災害を防止し、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>そとやまさわじょうりゅう</small> 外山沢上流 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県北西部、中禅寺湖に流れ込む外山沢上流部に位置し、花崗岩からなる脆弱な山腹が豪雨により崩壊し、山腹脚部に不安定な状態で堆積しており浸食も激しい。このため台風等の豪雨のたびに下流の市道（1002号線）に土砂が流出しており、今後の降雨等により被害の拡大が懸念されることから、土砂流出の抑止及び浸食を防止し、保安林機能の向上と併せ、民生の安定を図る。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,519千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 8,774千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 38,242千円 計 47,016千円	
	分析結果（B/C）	3.24	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられ過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>もとくちさわ</small> 本口沢 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県の最西部に位置し、渡良瀬川の上流、出川の右岸支流本口沢に当たり、破碎された基岩に覆われ、それより剥離された岩片が溪床上に厚く堆積している。その規模は延長480m、面積1.3ha、不安定土砂量は21,000m³余りと推測される。今後、降雨等により大量の土砂が下流域に流出する恐れがあるため荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="padding-left: 40px;">山腹工 0.1ha 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,774千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,270千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	79,484千円
		計	87,754千円
	分析結果（B/C）	5.23	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積している不安定土砂の二次浸食も始まっており、降雨による土砂の流出も見られることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、土砂移動の防止をするために最も効果的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>しげくらすわ</small> 茂倉沢 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬県の北西部、利根郡新治村の北部から南流する赤谷川（一級河川）の右岸支流、茂倉沢本流に位置する。 茂倉沢流域は溪流延長5.2km、流域面積410haを有する流域で、多くの支流が合流する樹枝状流域である。 中下流部は山腹斜面が下降斜面となっており、斜面上流部ほど傾斜が急峻になる。また谷壁斜面は両岸に段丘状の緩斜地が見られるものの、一方では縦浸食が卓越していることから、急崖地が連続して見られ、溪岸崩壊地も随所に発生している。 以上のことから荒廃地の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.9ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,554千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 6,670千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 72,411千円 計 79,081千円	
	分析結果（B/C）	4.78	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃森林、山腹崩壊地も多く見られることから、今後の集中豪雨等による崩壊地の拡大及び土砂流出も危惧されることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、山腹斜面の安定等が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、土砂移動の防止をするために最も効果的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ながさがわしりゅう</small> 長笹川支流 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は群馬県の北西に位置し、平成15年8月の集中豪雨の際に土石流が発生し、直下の県道中之条・草津線に流出土砂が堆積し通行止めとなった箇所である。 上流部には豪雨時に発生した土砂が不安定な状態で堆積しており、下流域集落で懸念されている。 この不安定土砂の流出防止と、渓岸浸食の防止を図るため実施するものである</p> <p style="text-align: center;">・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;"> 溪間工 2基 土留工 1基 </p>		
費用対効果分析	総費用（C）	33,654千円	
	総便益（B）	6,904千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 171,197千円 178,101千円	
	分析結果（B / C）	5.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 不安定土砂の流出防止と、渓岸浸食の防止を図るため当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定、水源かん養機能の維持、向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に適合した効果的、効率的な工種を採用しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>なかおさわだいいちしりゅう</small> 中尾沢第1支流 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は群馬県北西部に位置し、反下川支流の中尾沢第一支流に当たる。渓床勾配は比較的急峻であり、部分的に不安定土砂の堆積とともに局所的な溪岸浸食もみられる。下流の既設溪間工は満砂となっており、下流域集落への流出土砂による影響が懸念されている。このため洪水時に山地から流出する土砂の抑止及び溪岸を固定するなど荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,462千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 6,904千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 78,689千円 計 85,593千円	
	分析結果（B/C）	6.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：洪水時に山地から流出する土砂の抑止、溪岸の固定を実施することにより、下流の保全対象の保護を図ることから当該事業の実施は必要である。 ・有効性：当該事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定、下流の保全対象の保護、水源かん養機能の維持・向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>もとしらねさわ</small> 本白根沢 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は群馬県北西部に位置し、万座川支流の本白根沢流域である。最上流部は本白根大崩の特殊荒廃地であり、平成15年度の航空実播工の施工により土砂の新規発生は抑制されているが、施行以前に流下した大量の不安定土砂が渓床内に堆積しており、下流域で懸念されている。 堆積土砂の流出と渓岸崩壊の防止を図るため実施するものである。 これにより、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 渓間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	38,317千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 9,634千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 198,710千円 計 208,344千円	
	分析結果（B/C）	5.44	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：河床に不安定土砂の堆積があり、降雨等により土砂流出の恐れがあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性：当該事業の実施により、渓床に堆積する土砂の安定が図られ、水源かん養機能及び保健機能の維持、向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を採用しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あおば 青葉 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は群馬県北西部に位置し、草津町白根国有林158ル6林小班内の山腹崩壊地である。崩壊地直上部には、スキー場のリフト山頂駅が設置されており崩壊地直下は草津白根スポーツ林の振子沢コースになっている。</p> <p>このため、崩壊地の拡大防止と併せ、保安林機能の向上を図るため実施するものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p>山腹工 0.16ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,577千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 6,904千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 79,484千円 計 86,388千円	
	分析結果（B/C）	8.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：崩壊地の拡大防止と観光客等の安全確保のため、当該事業の実施は必要である。 ・有効性：当該事業の実施により、崩壊地の復旧と保全対象の保護及び水土保全機能の維持、向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を採用しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>きだちさわ</small> キダチ沢 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新潟県新発田市南東部に位置し、坂井川支流石川川の上流部に当たり、溪岸崩壊の発生により、溪床には不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,635千円	
	総便益（B）	39,981千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 110,055千円 150,036千円	
	分析結果（B/C）	6.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられることから過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{にしのさわ} 西之沢 （新潟）	事業実施主体	関東森林管理局 中越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新潟県南東部の五十嵐川支流布倉沢左岸部に位置し、平成16年7月13日の集中豪雨により不安定土砂が流出し、村道が一部決壊するなどの被害が発生した。</p> <p>このため、今後の集中豪雨により村道に被害が発生する恐れがあることから、早急に復旧し保全対象の保護を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">護岸工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	2,885千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,440千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 26,230千円 計 28,670千円	
	分析結果（B/C）	9.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸浸食により村道へも被害を及ぼした経緯があるとともに、さらに今後の降雨による被害の拡大も懸念されることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪岸の安定が図られ、水土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	限界状態設計法等実証（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>こいじさわ</small> 恋路沢 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県北西部に位置し、鬼怒川上流逆川の支流恋路沢の中流部に当たり、上流部に点在する小規模な山腹崩壊地からの崩落土砂により溪床内に多量の不安定土砂が堆積している。そのため、今後の豪雨等により堆積土砂の流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、民生安定を図るものである。</p> <p>なお、当該箇所における限界状態設計法等実証事業については、今後の治山施設の性能設計化への移行を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,231千円	
	総便益（B）	8,034千円	
	水源かん養便益	千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	131,149千円	
	計	139,183千円	
	分析結果（B/C）	7.24	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出もみられ、過去に下流域へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的かつ効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	なだれ防止林造成（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	はつかいし はつか石 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 中越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当施工地は、新潟県南部に位置しており国内でも有数の豪雪地帯である。当地区は、斜面平均勾配41°と急勾配を呈し、頭部は基岩の露頭も確認できることから当斜面はなだれの発生危険度が高い斜面である。また、下部には県施工のコンクリート擁壁が施工されており、上部国有林内のなだれ防止柵の施工によりこの地区のなだれを防止するため実施するものである。</p> <p>なお、地元より要望も強く早期の施工が必要である。</p> <p>・主な事業内容 なだれ防止柵 15基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	38,905千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 8,071千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 79,484千円 計 87,555千円	
	分析結果（B/C）	2.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： なだれの発生危険度が非常に高い地区であるとともに、地元要望も強いことなどから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、なだれ発生危険区域の安定が図られ、水土保持機能が維持向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成18年度（2年間）						
事業実施地区名 （都道府県名）	こますたに 小鱒谷 （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署						
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新潟県三川村北西部に位置し、中ノ沢川支流小鱒谷沢中流部の右岸斜面中腹に当たる。当該地域の森林は過密過及び山腹の小崩壊が発生するなど、水土保持機能が著しく低下しており、今後も表土の流出による崩壊が発生する恐れがあるため、溪間工・保安林整備を実施する必要があるため、保安林管理道を作設し森林整備等の効率的な実施を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>保安林管理道</td> <td>1,080m</td> </tr> <tr> <td>溪間工</td> <td>1.0基</td> </tr> <tr> <td>森林整備</td> <td>59.0ha</td> </tr> </table>			保安林管理道	1,080m	溪間工	1.0基	森林整備	59.0ha
保安林管理道	1,080m								
溪間工	1.0基								
森林整備	59.0ha								
費用対効果分析	総費用（C）	56,840千円							
	総便益（B）	水源かん養便益	204,504千円						
		山地保全便益	149,985千円						
		環境保全便益	千円						
		災害防止便益	千円						
		計	354,489千円						
	分析結果（B/C）	6.24							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 過密化林分を放置することにより、表土の流出が懸念されることから、水土保持機能の維持向上のために当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により路網の整備が確保され、森林整備の効率的な実施が図られ、水土保持機能が維持向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地の地形を考慮し最も効果的な路線選定をしており、効率性は認められる。 								

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	しらとり 白鳥 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 磐城森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は2級河川鮫川流域の源として重要な位置にあり水源かん養保安林に指定されている奥地保安林である。これらの地域から流出する土砂や流木等は流域全体に影響を及ぼすものである。</p> <p>当該地区は適切な森林整備・保全が遅れており、保安林機能を高める対策が早急に必要であること、また崩壊地は林道等から離れているため施工条件が厳しいことなどから、人力による森林整備と簡易かつ効果的な治山施設の整備を実施し、保安林の水土保全機能の維持向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山腹工 0.1ha 本数調整伐 140ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	19,766千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	23,973千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	26,230千円
		計	50,203千円
	分析結果(B/C)	2.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 保安林機能を高めるため、荒廃地に対する簡易かつ効率的治山施設と荒廃森林の森林整備を一体的に実施する必要がある。 ・有効性： 当該事業の実施により、土砂の流出等の抑止及び健全な森林の育成が図れ、流域全体にわたる水源かん養機能及び土砂流出防止機能の高度発揮に資することから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、本数調整伐の伐倒木を有効利用するなど、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策事業(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	あやのいり 安佐野入 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は郡山市湖南町中野地区の上流に位置し、当該地区の水源地域になっており、平成16年に水源かん養保安林に指定された奥地保安林である。 当該崩壊地は林道等から離れているため、施工条件が厳しいことなどから、人力による森林整備と簡易かつ効果的な治山施設の整備を実施し、保安林の水土保持機能の維持向上を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.2ha 本数調整伐 207ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	10,096千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 26,618千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 36,685千円 計 63,303千円	
	分析結果(B/C)	6.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 保安林が過密状態にあるとともに、豪雨等により山腹が崩れて崩壊地が点在しているため、崩壊地の復旧とともに本数調整伐を一体的に実施する必要がある。 ・有効性： 当該事業の実施により、土砂流出等の抑止及び健全な森林の育成が図られ、流域全体にわたる水源かん養機能・土砂流出防止機能の高度発揮に資することから有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては本数調整伐の伐倒木を有効利用するなど、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	つるさわ ツル沢 (栃木県)	事業実施主体	関東森林管理局 塩那森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県北部に位置し、箒川の上流ツル沢に当たる奥地保安林である。当該箇所は山腹崩壊が発生しており、今後の降雨等により、それらが拡大する恐れがあるため、山腹の早期緑化を実施するものであるが、林道等から離れているため、施工条件が厳しいことなどから、人力による簡易かつ効果的な治山施設の整備を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 0.5ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	89,036千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	53,522千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	158,968千円
		計	212,490千円
	分析結果(B/C)	2.39	
評価結果	<p>・必要性：山腹崩壊の拡大及び土砂流出の防止を行うため、当該事業の実施は必要である。</p> <p>・有効性：当該事業の実施により、山腹の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成19年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>とっこさわ</small> 独鈷沢 (栃木県)	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、栃木県北西部鬼怒川支流男鹿川の上流部に位置し、五十里ダムの流域の源として重要な位置にあり、ほぼ全域が水源かん養保安林に指定されている。</p> <p>当該箇所の地形は、急峻で気象条件も厳しく気象等による被害を受けていることから、荒廃森林からの土砂・枯損木等が流出により下流域への被害が懸念されている。</p> <p>また、林道等から離れているため、施工条件が厳しいことなどから、人力による森林整備と簡易かつ効果的な治山施設の整備を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山腹工 1.0ha 本数調整伐 100.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	29,138千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 54,925千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 79,484千円 計 134,409千円	
	分析結果(B/C)	4.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃した森林からの土砂流出、流木等が流域全体に及ぼす被害を防止するため、当事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧とともに荒廃した森林が整備され森林の安定が図られるなど、水源かん養及び国土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	^{ふとうさわ} 不動沢 (栃木県)	事業実施主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬県の北東部に位置し、一級河川栗原川の最上流部に位置する奥地保安林である。当該地は地形が急峻で気象条件も厳しいことから、崩壊地が発生し、ここから発生する土砂が流域全体に影響を及ぼしていることから、荒廃した森林が多く所在している実態にあり、本数調整伐・山腹工事を施工するものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山 腹 工 0.1ha 本数調整伐 20.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	10,096千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 50,235千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 39,345千円 計 89,580千円	
	分析結果(B/C)	8.87	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：荒廃した森林からの土砂流出、流木等が流域全体に及ぼす被害を防止するためにも当事業の実施は必要である。 ・有効性：当事業の実施により、荒廃した森林が整備され森林の安定が図られ、水源かん養及び国土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成19年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	からまつさわ 唐松沢 (群馬県)	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該地区は、群馬県の北西部の一級河川上沢渡川上流部に位置し、区域内には中、小規模の山腹崩壊地が点在し、これらの箇所から流出する土砂や流木等は下流域の保全上懸念される。</p> <p>本事業は、これら奥地水源林の荒廃地等の保全対策に資するため、簡易かつ効果的な工法等により治山施設の整備と森林整備を一体的に実施し、健全な森林を造成するものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山 腹 工 0.4ha 本数調整伐 12.3ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	28,931千円	
	総便益(B)	水源かん養便益 77,874千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 119,226千円 計 197,100千円	
	分析結果(B/C)	6.81	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：山腹崩壊の発生による崩壊地からの土砂の生産を防止し、崩壊地の復旧とともに森林整備を実施し、下流の保全対象の保護を図る必要があることから当該事業の実施は必要である。 ・有効性：当該事業の実施により、山腹の安定及び下流保全対象の保護、水源かん養機能の維持、向上が図られることから、有効性は認められる。 ・効率性：計画に当たっては、現地に適合した効果的、効率的な工種を採用しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>たかならかわ</small> 高楯川 (群馬県)	事業実施主体	関東森林管理局 群馬森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、群馬県東部に位置し、渡良瀬川支流高楯川の上流部の水源森林に当たる奥地保安林であり、林地の荒廃により山腹崩壊が発生し高楯川には、不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、早期に荒廃林地の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山 腹 工 0.2ha 本数調整伐 10.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	10,096千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	28,539千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	59,613千円
		計	88,152千円
	分析結果(B/C)	8.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 荒廃した森林からの土砂流出、流木等が流域全体に及ぼす被害を防止するため、当事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧とともに荒廃した森林が整備され森林の安定が図られるなど、水源かん養及び国土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>みずかみさわ</small> 水上沢 (新潟県)	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新潟県黒川村東部に位置し、胎内川支流中津川の上流部に当たり、山腹崩壊の発生により、溪床には不安定土砂や流木が堆積している。地質的には花崗岩が風化しマサ土化しており今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山腹工 0.2ha 本数調整伐 26.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	8,654千円	
	総便益(B)	6,429千円	
	山地保全便益	千円	
環境保全便益	千円		
災害防止便益	79,484千円		
	計	85,913千円	
	分析結果(B/C)	9.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本箇所は山腹崩壊地が点在し降雨等による土砂の流出もみられ、また過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、点在する山腹崩壊地の土砂の安定が図られ、水土保全機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	^{ながとが} 長トカ (新潟県)	事業実施主体	関東森林管理局 上越森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、新潟県南西部に位置し、姫川支流小竜川の上流部東俣沢に当たる奥地保安林であり、山腹崩壊の発生及び山腹には不安定土砂や流木が堆積している。今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域に被害が拡大する恐れがあるが、林道等から離れているため、施工条件が厳しいことなどから、人力による森林整備と簡易かつ効果的な山腹の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山 腹 工 0.2ha 本数調整伐 17.0ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	12,019千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	49,930千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	16,374千円
		計	66,304千円
	分析結果(B/C)	5.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹に不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出が見られること。また、本数調整伐により森林機能が高まることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、山腹に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的、効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	地蔵堂 （静岡県）	事業実施主体	関東森林管理局 伊豆森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、静岡県の伊豆半島中央部に位置し、狩野川支流における大見川の最上流部地蔵堂川に在り、平成15年の台風及び平成16年の度重なる台風等により土石流が発生し、溪床には不安定土砂や転石が堆積している。 今後の降雨等により、それらの流出に伴い直下の農耕地（山葵田）や下流域に被害が拡大する恐れがあるため、荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	98,110 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 21,715 千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 588,638 千円 計 610,353 千円	
	分析結果（B/C）	6.22	
評価結果	<p>・必要性： 溪床には不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出や溪岸崩壊地の兆候も見られる。 過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施により、溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）		事業計画期間	平成17年度～平成21年度（5年間）								
事業実施地区名 （都道府県名）	みやけしま あご 三宅島 阿古 （東京都）		事業実施主体	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署								
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、伊豆七島の一島であり、平成3年から平成13年まで海岸林造成事業により植栽工等を実施してきたが、三宅島の雄山が平成12年7月8日（第1回目）に噴火し、平成12年7月14日（第2回目）に引き続き噴火を行い、事業を中止し現在に至っている。</p> <p>噴火による「火砕流」・「溶岩流」・「亜硫酸ガス」の影響から、既設施工箇所及び既存国有林内の植生が被災及び消滅した。このことから、潮害・風害等が直接人家等へ影響を及ぼしている状況である。</p> <p>平成17年2月下旬から一部帰島がなされたことから、国有林内において森林のによる保安林機能の向上と併せ、民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>植栽工</td> <td>12.77ha</td> </tr> <tr> <td>下刈り</td> <td>12.77ha</td> </tr> <tr> <td>防風柵設置工</td> <td>1,260m</td> </tr> <tr> <td>古損木除去工</td> <td>5.34ha</td> </tr> </table>				植栽工	12.77ha	下刈り	12.77ha	防風柵設置工	1,260m	古損木除去工	5.34ha
植栽工	12.77ha											
下刈り	12.77ha											
防風柵設置工	1,260m											
古損木除去工	5.34ha											
費用対効果分析	総費用（C）	86,152千円										
	総便益（B）	水源かん養便益	356,414千円									
		山地保全便益	214,475千円									
		環境保全便益	千円									
		災害防止便益	千円									
		計	570,889千円									
	分析結果（B/C）		6.63									
評価結果	<p>・必要性： 現在島内の樹木は火山ガスの影響により枯死している状況にある。このため、直接潮等が人家に吹付け、塩害や破損をしている状況にある。このことから森林により、防潮・防風を図り人家等の保全を図る必要がある。</p> <p>帰島がなされている現在は、重点的かつ早急に森林によるベルト造成地を創設し民政の安定を図ることから、当該事業の実施は必要である。</p> <p>・有効性： 当事業の実施することにより森林の造成が図られ、人家等への防潮・防風の被害を軽減し、併せて保健機能の向上も図れることから、有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。</p>											

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	なごね 中尾根 (静岡県)	事業実施主体	関東森林管理局 天竜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、静岡県の北東部に位置し、水窪水系の源頭域における国有林最北端に位置し、平成15年の台風及び平成16年の度重なる台風等により崩壊地が発生し、それに伴い溪床には不安定土砂や転石が堆積している。 今後の降雨等により、それらの流出に伴い下流域の保全対象に被害が拡大する恐れがあるため、崩壊地及び荒廃溪流の復旧を実施し、保安林機能の向上と併せ民生安定を図るものである。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 4.16 ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	209,947 千円	
	総便益(B)	78,279 千円	
	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 災害防止便益 計	千円 千円 千円 174,662 千円 252,941 千円	
	分析結果(B/C)	2.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床には不安定土砂の堆積があり、降雨による土砂の流出や崩壊地の拡大の兆候も見られる。 過去に下流へ被害を及ぼした経緯もあることから、当該事業の実施は必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧及び溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから、有効性は認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じ最も効果的効率的な工種を選定しており、効率性は認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	しよやさわ 初谷沢 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県佐久市東部の群馬県境の尾根筋より西側に位置し、全域にわたり水源かん養保安林、妙義荒船佐久高原国定公園に指定され、地区内には初谷温泉があり四季を通じて入り込み者が多い地区である。平成13年9月の台風15号や平成16年10月の台風23号による集中豪雨により、山腹崩壊地が発生・拡大し初谷沢沿いに走る市道に土砂が流出し通行不能にする被害が発生した。このため、山腹崩壊地の拡大及び溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、温泉施設、人家や市道等の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.12ha 溪間工 14基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	197,954（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	41,631（千円）
		国土保全便益	736,174（千円）
		計	777,805（千円）
	分析結果（B/C）	3.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 下流に温泉施設があり年間を通して入込者が多く、放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成22年度(6年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>くろかわじょうりゅう</small> 黒川上流 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県上伊那郡宮田村の西端部に位置し、中央アルプスの駒ヶ岳等標高2,000m級を越える山系に囲まれた高山地区である。急涯地形の脆弱な風化花崗岩と厳しい気象条件から崩壊地面は浸食と風化作用により安定化が進まず土砂生産が著しい地区である。平成15年4月には、気温上昇により融雪が進んでいたところに大雨が重なったことにより、山腹崩壊が発生し、溪岸浸食を伴って土石流が発生し、林道がいたるところで決壊流出する被害が発生し、溪床には不安定土砂が厚く堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等により、崩壊斜面の浸食及び溪流内の不安定土砂の流出等、発電取水施設等に被害を与える危険性が高いため、山腹工及び溪間工により早急に山腹崩壊の復旧と土砂の流出を防止し、下流の保全を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>・主な事業内容 溪間工：7基(新設5基 補修2基) 山腹工：2.16ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	232,695千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	39,002千円
		災害防止便益	691,578千円
		計	730,580千円
	分析結果(B/C)	3.14	
評価結果	<p>・必要性：平成15年の融雪災害時に大きな災害を受けた地区であり、放置すると今後の集中豪雨等により不安定土砂が流出し下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。</p> <p>・有効性：本事業を実施することにより、崩壊地の復旧や不安定土砂の安定及び山脚の固定等下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。</p> <p>・効率性：対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成19年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>あしべがわしりゅう</small> 芦部川支流 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県下伊那郡豊丘村伊那山脈の西側の芦部川支流に位置し、豊丘村の重要な水源域になっている。地質は花崗岩の風化が進んだ脆弱な地質構造である。一帯のヒノキ人工林は若齢で生育途上の森林が多い。平成12年8月の集中豪雨、平成16年8月の台風15号による集中豪雨等により、山腹から土砂が流出し芦部川林道の通行が不能となる災害が発生した。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大防止及び溪床内に堆積した不安定土砂の流出を防止し、下流部の保全を図るとともに、保安林機能の維持・増進を目的として本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="margin-left: 40px;">山腹工 0.45ha 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	81,387(千円)	
	総便益(B)	水源かん養便益 15,452(千円) 災害防止便益 209,663(千円) 計 225,115(千円)	
	分析結果(B/C)	2.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 花崗岩の風化が進んだマサ土地帯であり、自然復旧が困難であることから、放置すると今後の集中豪雨等により不安定土砂が流出し下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地の復旧や不安定土砂の安定及び山脚の固定等下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山(国有林)	事業計画期間	平成17年度～平成21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>くらがりさわ</small> クラガリ沢 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県飯田市の西部に位置し、松川ダム(多目的)上流左岸側の飯田市の重要な水源域である。一帯は花崗岩の風化が進んだ脆弱な地質構造で急傾斜地である。また、多雨地域であり集中豪雨が多いことから崩壊が相次いで発生している。特に、平成12年8月の集中豪雨、平成16年8月台風15号等の集中豪雨により、山腹から土砂が流出し路肩決壊し陣ヶ沢林道の通行が不能になる災害や発電ダムの取水にも支障を来す等の災害が発生した。下流の松川ダムでは流入土砂の堆積・濁水が深刻でありダム機能の低下が懸念され上流域の早期復旧が望まれている。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大防止及び溪床内に堆積した不安定土砂の流出を防止し、下流部の保全を図るとともに、保安林機能の維持・増進を目的として本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="margin-left: 40px;">山腹工 0.25ha 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	98,801(千円)	
	総便益(B)	水源かん養便益	23,772(千円)
		災害防止便益	242,938(千円)
		計	266,710(千円)
	分析結果(B/C)	2.70	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 下流には飯田市の水源である松川ダムがあり、流入土砂の増加が懸念されていること等から、放置すると今後の集中豪雨等により不安定土砂が流出し下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かりかやだに 刈萱谷2 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長野県上伊那郡長谷村の南部、戸台、仏像構造線間に位置し、地質的に脆弱であるため、溪床では横浸食が進み溪岸の崩壊現象も見られる。平成6年8月及び平成7年9月の集中豪雨で、上流部からの土砂の流出により直下の橋梁が閉塞し林道が通行止めとなる被害が発生した。その後の集中豪雨等により、溪床内には不安定土砂の堆積が進行しており、既設の溪間工も満砂しているため土砂調整機能が低下している。</p> <p>このため、不安定に堆積している土砂の流出を防止し、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	31,731（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	15,789（千円）
		災害防止便益	235,757（千円）
		計	251,546（千円）
	分析結果（B/C）	7.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 上流部からの流送土砂が不安定に堆積しており、この土砂の流下で直下の林道に被害を及ぼしており、放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、不安定土砂を固定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{かなざわ} 金沢3 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長野県茅野市の南端に位置し、南アルプス北端の入笠山に続く山系で比較的傾斜が緩く、黒色または緑色の変岩類で形成されている。平成11年9月及び平成13年9月の集中豪雨により溪岸浸食が進行し、不安定土砂が下流の市道や林道に押し出し通行止めとなる被害が発生した。当溪流は通常の流水が多く乱流による溪岸浸食と土砂の堆積が進行している。</p> <p>このため、溪流全体の保全のため流路の固定を図るとともに、不安定土砂の流出を防止し、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	24,038（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	19,263（千円）
		災害防止便益	209,606（千円）
		計	228,869（千円）
	分析結果（B/C）	9.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪岸浸食の進行などで溪床に不安定な土砂堆積がみられ、常水が多いことから浸食が旺盛で、放置すると今後の集中豪雨等により溪岸崩壊の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、溪間工による不安定土砂及び山脚の固定等により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、流路が固定され不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度（5年間）								
事業実施地区名 （都道府県名）	おきそ 小木曾7 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署								
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県木曾郡木祖村の北部に位置し、木曾川の源流となる最上流域である。溪流にはS30年代に施工された溪間工が6基、H元年の豪雨災害後に3基施工がされているが、既設谷止工9基の内5基が（S36～S38施工）が経年変化により洗掘等が進み決壊等の危険がある。また、平成16年10月の台風23号の集中豪雨により山腹崩壊が発生した。下流には人家・県道・林道・木祖村水道施設があり、木祖村及び地元地域等から早急な事業実施を求められている。</p> <p>このため、既設溪間工の機能を維持するとともに、不安定土砂の流出を防止し、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>溪間工</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>溪間工補修</td> <td>5基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.15ha</td> </tr> <tr> <td>運搬道</td> <td>950m</td> </tr> </table>			溪間工	1基	溪間工補修	5基	山腹工	0.15ha	運搬道	950m
溪間工	1基										
溪間工補修	5基										
山腹工	0.15ha										
運搬道	950m										
費用対効果分析	総費用（C）	153,856千円									
	総便益（B）	水源かん養便益	51,214千円								
		災害防止便益	784,602千円								
		計	835,816千円								
	分析結果（B/C）	5.43									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 既設溪間工の洗掘等が進み今後の集中豪雨等により既設溪間工の転倒崩壊による不安定土砂の流出等により下流に被害を与える恐れが高いため、溪間工の補修を行い機能維持を図り、また、山腹崩壊地の復旧と新規の溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、既設溪間工の機能が維持されるとともに、崩壊地の復旧や不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>										

事前評価個表

事業名	水源流域広域保全（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成23年度（7年間）						
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ぬがさわ</small> 糠沢 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署						
事業の概要・目的	<p>当地区は長野県木曾郡檜川村の南部に位置し、奈良井川上流の支流である。奈良井川には松本市、塩尻市の上水道水源取水施設があり、松本市の約4分の3・塩尻市の約3分の2の上水道用水をまかなう重要な水源地域である。平成16年10月の台風23号の集中豪雨により、拡大崩壊が発生し昭和40年代に施工した治山施設の一部が崩壊するとともに土砂が民有地まで流下した。崩壊地面積も大きく、流出土砂も多く、渓流勾配も急峻であるため、奈良井川までの土砂流下の危険もある。地元檜川村及び長野企業局松塩水道用水管理事務所からは早期の事業実行を求められている。</p> <p>このため、重要水源地域における森林の有する水源かん養機能を高度に発揮させ、水資源の確保と国土保全に資することを目的に、荒廃地等の復旧整備及び荒廃森林等の整備を総合的に実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>溪間工</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>2.55ha</td> </tr> <tr> <td>森林整備</td> <td>46.03ha</td> </tr> </table>			溪間工	6基	山腹工	2.55ha	森林整備	46.03ha
溪間工	6基								
山腹工	2.55ha								
森林整備	46.03ha								
費用対効果分析	総費用（C）	557,127千円							
	総便益（B）	水源かん養便益	95,753千円						
		国土保全便益	731,244千円						
	計	826,997千円							
	分析結果（B/C）	1.48							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 重要な水源地域であり、林地の荒廃等による濁水問題の解消等地元からの復旧要望も強く、森林の持つ水源かん養機能を高度に発揮させるため、荒廃地の復旧整備及び森林等の整備を総合的に実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地の復旧や森林整備により、水土保全機能の増進が図られ、下流域の水源確保に資することから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>								

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>みなみあらかぎ</small> 南 蘭26 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署 南木曾支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県木曾郡南木曾町の南部に位置しており、地質は、崩壊性の高い風化花崗岩からなる脆弱な地質構造である。浸透水の飽和などによって表層滑落型の崩壊が起きており、凍結・融解等寒冷作用により、崩壊地表面が浸食される等、自然復旧が非常に難しい地区である。度重なる集中豪雨等により山地荒廃が進行し新生崩壊が発生しており、平成11年6月の梅雨前線豪雨の際に拡大し崩落土砂が溪流に流出した。崩壊地は現在も降雨の度に拡大浸食を続けており、溪流内に不安定土砂の堆積が進んでいる。</p> <p>このため、山腹崩壊地の拡大にともなう土砂の流出を防止し下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.38ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	48,077（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	9,335（千円）
		国土保全便益	64,460（千円）
		計	73,795（千円）
	分析結果（B/C）	1.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 花崗岩の風化したマサ土地帯で崩壊地が発生しやすい地域であり自然復旧が困難であることから、放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大等により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧により下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{ただし} 田立12 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署 南木曾支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県木曾郡南木曾町南部に位置している。当地区の中流部は急峻な地形で、総称して「田立の滝」と言われる名瀑が連続した地形となっており、毎年1万人余りの観光客が訪れる名勝地となっている。</p> <p>下流域、王滝川合流地点においては、平成11年6月の梅雨前線豪雨により大規模な土石流が発生し、取水施設や併用林道(町道)を決壊させる等の被害が発生した。当地区下流溪床内には、平成11年の災害で発生した不安定土砂が転石を含み堆積しており、今後の集中豪雨・台風等によって流下し下流のキャンプ場、集落等に被害を与える危険性が高まっている。</p> <p>このため、溪間工を施工し、溪床内に堆積している不安定土砂礫の流出を抑制、固定し溪床勾配を緩和させることにより、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,000（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,681（千円） 災害防止便益 73,866（千円） 計 75,547（千円）	
	分析結果（B/C）	3.02	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：平成11年に水道施設・林道・町道等が大きな被害を受けており、溪流内には転石や不安定土砂が堆積しており、放置すると今後の集中豪雨等により土石流により下流に大きな被害を与える恐れが高いため、溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性：本事業を実施することにより、不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>たきがほら</small> 滝ヶ洞（小谷） <small>こたに</small> （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、岐阜県飛騨市の西部飛騨山地のほぼ中央に位置し、比較的急峻な中小の起伏地形を呈している。地質は濃飛流紋岩が分布しているが、この付近には活断層が多く分布し、その影響を受けて破砕作用が著しいため、脆弱な地質構造となっている。</p> <p>平成11年9月の台風16号に伴う集中豪雨では、土石流が発生し下流の稲越集落で人家が流出する等大きな被害が発生した。土石流の発生源である国有林は溪岸浸食が著しく、中下流部には流動性の高い不安定土砂等が堆積しており早期復旧が必要であったが、当時は現地までの資材運搬路が無かったことや、下流域工事との錯綜等の理由から、岐阜県と調整を図ってきたところである。</p> <p>現地は災害当時の堆積土砂等の流出が現在も続いており、平成16年10月発生 of 台風23号に伴う集中豪雨では、その当時の流出土砂が流下し、一部は集落付近まで達する等、下流域は土砂災害の危険性が極めて高くなっている。</p> <p>このため、岐阜県による下流部での事業が16年度でほぼ終了することから、上流部国有林において、溪床及び山脚部に不安定な状態で堆積する土砂の流出を防止し、山脚部の安定化を図るとともに下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 5基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	170,373（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	12,391（千円）
		災害防止便益	433,074
		計	445,465
	分析結果（B/C）	2.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：平成11年に大きな災害が発生した箇所であり、放置すると今後の集中豪雨等により溪岸崩壊の拡大や土石流の発生により下流に被害を与える恐れが高いため、溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性：本事業を実施することにより、不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性：対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>にしまた</small> 西俣 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は岐阜県飛騨市の西部水無山から北東に延びる稜線の南東斜面に位置し、比較的急峻な中小の起伏地形を呈している。地質は飛騨変成岩類や安山岩類から構成され、活断層の影響を受けて破碎作用が著しいため、脆弱な地質構造となっている。平成11年9月の台風16号に伴う集中豪雨では当地区最上流部の稜線付近に発生した崩壊地が引き金となった土石流が発生し、下流の県道等に被害をもたらした。渓流は土石流による渓岸浸食が著しく、中下流部には現在も流動性の高い不安定土砂の堆積が進んでおり、平成16年10月の台風23号に伴う集中豪雨では土砂が流下し、一部は上村集落付近まで達する等、下流域は土砂災害の危険性が極めて高くなっている。</p> <p>このため、渓岸荒廃の防止及び渓床に不安定な状態で堆積する土砂の流出を防止し、山脚部の安定化を図るとともに下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容： 溪間工 5基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	132,268（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	10,589（千円）
		災害防止便益	405,981
		計	416,570
	分析結果（B/C）	3.15	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓流に堆積する不安定土砂等の状況や、既設谷止工への土砂堆砂状況から、放置すると今後の集中豪雨等により渓岸荒廃の拡大や土石流の発生により下流に被害を与える恐れが高いため、溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～21年度（5年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>のうごう</small> 能郷 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区には、岐阜県本巣市北西部に位置し、地形は全体的に壮年期地形を呈しており急峻である。地質は砂岩、頁岩、粘板岩等で構成され、活断層により基岩が破碎作用を受け脆弱で、崩壊地・渓流荒廃地が多く荒廃が進んでいる。平成14年の台風6、7号の集中豪雨により土砂が流出し直下を通過する林道を通行止めにする等の被害が発生した。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧と、渓間工による不安定土砂の固定を行い、下流域の保全と保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.95 (ha)</td> </tr> <tr> <td>渓間工</td> <td>7 (基)</td> </tr> </table>			山腹工	0.95 (ha)	渓間工	7 (基)
山腹工	0.95 (ha)						
渓間工	7 (基)						
費用対効果分析	総費用（C）	172,151 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	10,895 千円				
		災害防止便益	307,745 千円				
	計	318,693 千円					
	分析結果（B/C）	1.85					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地質的に脆弱な地域で荒廃が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と渓間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>						

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～21年度（5年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>かわうら</small> 川浦（ <small>あかしだに</small> 明石谷） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、岐阜県武儀郡板取村南西部に位置し、地形は傾斜が40度前後と極めて急峻であり、地質は流紋岩類及び破碎岩類が主体に構成されており、荒廃が進んでいる。下流には人家の他キャンプ場等の保全対象があり治山事業の必要性も高い地域でもある。平成14年7月の台風6,7号の集中豪雨により山腹崩壊が発生し土砂が流出し、林道が通行止めとなる被害が発生した。当地区では現在でも土砂の生産が続いており、不安定土砂の堆積が進んでいる。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧と、溪間工による不安定土砂の固定を行い、下流域の保全と保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>溪間工</td> <td>2 基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.17 ha</td> </tr> </table>			溪間工	2 基	山腹工	0.17 ha
溪間工	2 基						
山腹工	0.17 ha						
費用対効果分析	総費用（C）	71,166 千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	21,526 千円				
		災害防止便益	307,745 千円				
		計	329,466 千円				
	分析結果（B/C）	4.63					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 下流にはキャンプ場等の保全対象があり、入込者も多く、放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>						

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成22年度（6年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほんたに 本谷 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県北設楽郡設楽町西部に位置し、地形は急峻で、地質は領家変成岩、片麻岩等で構成され、節理が発達しており、表層剥離型の崩壊地が発生し、溪床には不安定土砂及び転石の堆積が進んでいる。平成12年9月の台風14号に伴う集中豪雨により新生崩壊地が発生し県道に土砂が流出し通行止めとなる被害が発生した。</p> <p>このため、崩壊地を復旧するとともに、不安定に堆積している土砂及び転石の流出を防止し、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 7 基 山腹工 0.12 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C） （千円）	113,823千円	
	総便益（B）	19,377千円	
	災害防止便益	158,968千円	
	計	178,345千円	
	分析結果（B/C）	1.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かさびさわ カサビ沢 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県額田郡額田町東部に位置し、地域一帯は、本宮山県立自然公園に指定され、四季を通じて入込み者が多い。地形は急峻で、地質は片麻岩類で構成され、集中豪雨等により溪岸浸食が進み一部不安定土砂が堆積している。今後の集中豪雨等により新生崩壊地の発生や土砂の流出によって下流のロッジ等に災害を発生させる危険が高まっている。</p> <p>このため、不安定に堆積している土砂及び転石の流出を防止し、災害を未然に防ぐことを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1(基)</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	23,077千円	
	総便益（B）	3,184千円	
	災害防止便益	45,178千円	
	計	48,362千円	
	分析結果（B/C）	2.10	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 下流にはロッジ等の保全対象があり入り込み者も多く、不安定土砂の堆積が進み、放置すると今後の集中豪雨等により新生崩壊地の発生や土砂の流出によって下流に被害を与える危険が高いため、溪間工により不安定土砂を固定し山地災害を未然に防止するために実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され災害の未然防止が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>だんごしま</small> 団子島 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県北設楽郡設楽町西部に位置し、地形は急峻で、地質は領家変成岩、片麻岩等で構成され、節理が発達しており、表層剥離型の崩壊地が発生し、溪床には不安定土砂及び転石の堆積が進んでいる。平成12年9月の台風14号に伴う集中豪雨により新生崩壊地が発生し、町道へ土砂が押しだし通行止めとなる被害が発生した。また、中腹の溪床には崩落土砂が残留堆積している。</p> <p>このため、崩壊地を復旧するとともに、不安定に堆積している土砂及び転石の流出を防止し、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基 山腹工 0.04 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,462千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,608千円
		災害防止便益	71,527千円
		計	74,135千円
	分析結果（B/C）	5.51	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 放置すると今後の集中豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により下流に被害を与える恐れが高いため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による不安定土砂及び山脚の固定により、下流域の保全を図るため実施するものであり、必要性は十分認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂が安定し土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な施設の整備が検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>みずのりだに</small> ミズノリ谷 （石川県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>ミズノリ谷地区は、白山山麓に位置し、中生代後期に噴出した濃飛流紋岩類で覆われており、溶結凝灰岩を主な構成物としている。地形は、極めて急峻でV字をなしており、表面滑落型の崩壊地が多い。</p> <p>当地区は、崩落土石が堆積し溪床勾配が急なため、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大並びに崩壊土砂の流出が続いている。また、白山スーパー林道に被害を及ぼす危険性も高い。</p> <p>本事業は、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.08ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,423千円	
	総便益（B）	<p>水源かん養便益 3,816千円</p> <p>山地保全便益 27,751千円</p> <p>環境保全便益 千円</p> <p>災害防止便益 千円</p>	
	計	31,567千円	
	分析結果（B/C）	2.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～19年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{たいふだに} 太夫谷 （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>太夫谷地区は滋賀県神崎郡永源寺町の茶屋川上流に位置する清水谷国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大並びに崩壊土砂の流出が続いている。また、鈴鹿国定公園地域内にあり、自然環境の維持、保全及び水源かん養機能等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 山腹工 0.40ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	67,862千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 11,516千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 108,416千円 計 119,932千円	
	分析結果（B/C）	1.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	川原谷上流 （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>川原谷上流地区は滋賀県高島郡今津町とマキノ町の百瀬川上流に位置する川原谷及び原山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大並びに崩壊土砂の流出が続いている。また、琵琶湖国定公園地域内にあり、自然環境の維持、保全及び水源かん養機能等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、崩壊地の拡大及び土砂の流出を抑えるとともに、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.40ha(3箇所)</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,269千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,663千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 54,208千円 計 55,871千円	
	分析結果（B/C）	3.06	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{にしがたに} 西ヶ谷 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>西ヶ谷地区は島根県鹿足郡六日市町の高津川支流に位置する米山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、台風等の集中豪雨による渓床荒廃が進み土砂の流出が続いている。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 谷止工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,577千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,081千円
		山地保全便益	16,368千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	19,449千円
	分析結果（B/C）	1.84	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 渓床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いざなみじょうりゅう イザナミ上流 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>イザナミ上流地区は島根県仁多郡仁多町の阿井川支流に位置するイザナミ国有林内の地区を対象としている。 当地区は町道いざなみ線に隣接した力所で、平成16年9月の台風18号の集中豪雨等により、山腹崩壊が発生し、山裾部には大量の不安定土砂が堆積している。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養機能等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、崩壊地の拡大及び土砂の流出を抑えるとともに、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.18ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	7,692千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,448千円 山地保全便益 10,271千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 千円	
	計	11,719千円	
	分析結果（B/C）	1.52	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	那岐山 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>那岐山地区は岡山県勝田郡奈義町の吉井川上流に位置する那岐山国有林内の地区を対象としている。</p> <p>当地区は、降雨による山腹崩壊箇所の拡大並びに崩壊土砂の流出が続いている。また、氷ノ山那岐山国定公園地域内にあり、登山者等の入込者の多い地区であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、崩壊地の拡大防止や不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.04ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,615千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,832千円
		山地保全便益	19,502千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	22,334千円
	分析結果（B/C）	4.84	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	お たちもかわ 小高下川 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>小高下川地区は岡山県高梁市の高梁川中流に位置する臥牛山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、降雨による山腹崩壊箇所の拡大並びに崩壊土砂の流出が続いている。また、高梁川上流県立自然公園内で史跡名勝があることもあり入込者の多い地区であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、崩壊地の拡大防止や不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.03ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	3,846千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,849千円
		山地保全便益	25,015千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	27,864千円
	分析結果（B/C）	7.24	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば土石の流出による災害が懸念され、また、不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保全機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保安等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>みやの たにかわ</small> 宮ノ谷川 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>宮ノ谷川地区は岡山県阿哲郡神郷町の高梁川中流に位置する三室国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨による不安定土砂の流出が続いてる。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、崩壊地の拡大防止や不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.04ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	4,615千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	935千円
		山地保全便益	8,672千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	9,607千円
	分析結果（B/C）	2.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により土砂流出等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効果的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	野路山 ^{のろざん} 534外 ^{ほか} （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>野路山534林班外地区は広島県安浦町の野呂川上流に位置する野路山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨による山腹崩壊箇所の拡大、崩壊土砂の流出が続いている。また、水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高く、水利組合からの復旧要望も出されている。 本事業は、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	42,212千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 25,281千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 38,470千円	
	計	63,751千円	
	分析結果（B/C）	1.51	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	不明山 ^{あけす やま ほか} 205外 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>不明山205林班外地区は、広島県湯来町の水内川上流に位置する不明山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨等により山腹崩壊箇所^{あけす}の拡大、崩壊土砂の流出がみられる。また、水源のかん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、崩壊地の拡大防止、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工0.08ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	12,394千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 2,745千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 17,487千円 計 20,232千円	
	分析結果（B/C）	1.63	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	はやしやま 林山 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署										
事業の概要・目的	<p>林山地区は、神戸市中央区の住宅密集地及び浄水施設に隣接する林山国有林全域を対象としている。 当地区は、下層植生が乏しく山腹斜面の浸食及び溪流の溪岸浸食が見られ、土砂が流出している状況にある。また、土砂流出防備保安林及び保健保安林に指定され、その公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業により、植生を回復することで災害を未然に防止し、保安林機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>溪間工</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.10ha</td> </tr> </table>			溪間工	2基	山腹工	0.10ha						
溪間工	2基												
山腹工	0.10ha												
費用対効果分析	総費用（C）	18,861千円											
	総便益（B）	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,923千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>34,401千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>36,324千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,923千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	34,401千円	計	36,324千円
	水源かん養便益	1,923千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	34,401千円												
計	36,324千円												
分析結果（B/C）	1.93												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 急傾斜地の山腹崩壊を予防し、浄水施設、下流域の保全等保安林機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、予防対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>												

事前評価個表

事業名	限界状態設計法実証事業 (国有林)	事業計画期間	平成17～19年度(3年間)				
事業実施地区名 (都道府県名)	はさり 八サリ (鳥取県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署				
事業の概要・目的	<p>八サリ地区は、鳥取県八頭郡若桜町に位置する八サリ国有林内全域を対象としている。 当地区は、智頭町八河谷集落から1.4kmの箇所であり、平成16年の台風16号及び23号では溪流荒廃及び山腹崩壊により大量の土砂が流出し、溪流内に堆積している。 本事業は、崩壊地の拡大及び不安定土砂の流出を抑止し、下流域の保全を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>溪間工</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.28ha</td> </tr> </table>			溪間工	3基	山腹工	0.28ha
溪間工	3基						
山腹工	0.28ha						
費用対効果分析	総費用(C)	31,816千円					
	総便益(B)	水源かん養便益	8,701千円				
		山地保全便益	35,285千円				
		環境保全便益	千円				
		災害防止便益	36,722千円				
		計	80,708千円				
	分析結果(B/C)	2.54					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、また不安定土砂が流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により保安林機能の増大が図られること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>						

事前評価個表

事業名	海岸防災林造成 (国有林)	事業計画期間	平成17～21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	はまやま 浜山 (石川県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>浜山地区は石川県西部の加賀海岸に位置する浜山国有林内の地区を対象としている。背後には民家、道路、工場等の保全施設が近接している。当地区は、マツクイムシ被害により、疎林化が進行し防風等保安林機能が低下している。また、越前加賀海岸国定公園内にあり、自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、疎林化した箇所への植栽及び防風垣の設置により保安林機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 防風垣</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	19,682千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	54,918千円
		災害防止便益	千円
		計	54,918千円
	分析結果(B/C)	2.79	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： マツクイムシ被害による疎林化が進行し、このまま放置すれば保安林機能が低下していくため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、防風機能の向上など背後の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	海岸防災林造成 (国有林)	事業計画期間	平成17～21年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>あたかばやし</small> 安宅林 (石川県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>安宅林地区は石川県西部の加賀海岸に位置する安宅林国有林内の地区を対象としている。背後には民家、道路、工場等の保全施設が近接している。当地区は、マツクイムシ被害により、疎林化が進行し防風等保安林機能が低下している。また、越前加賀海岸国定公園内にあり、自然環境の維持、保全等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、この疎林化した箇所への植栽及び防風柵の設置により保安林機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 防風柵</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	27,067千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	54,918千円
		災害防止便益	千円
		計	54,918千円
	分析結果(B/C)	2.03	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： マツクイムシ被害による疎林化が進行し、このまま放置すれば保安林機能が低下していくため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、防風機能の向上など背後の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>おくやま</small> 奥山811 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>奥山811地区は広島県神石郡神石高原町の高梁川上流に位置する奥山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 0.37ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	2,207千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 1,016千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 15,958千円 計 16,974千円	
	分析結果（B/C）	7.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおたに 大谷 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>大谷地区は広島県神石郡神石高原町の高梁川上流に位置する大造山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 1.79ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	7,908千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 4,448千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 39,894千円 計 44,342千円	
	分析結果（B/C）	5.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほろ 原 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>原地区は広島県神石郡神石高原町の高梁川上流に位置する御所ヶ谷山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 0.73ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	3,703千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,005千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	29,921千円
	計	31,926千円	
	分析結果（B/C）	8.62	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>みよのげんやま</small> 明現山825 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>明現山825地区は広島県甲奴郡総領町の江の川上流に位置する明現山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 1.41ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	6,531千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 3,505千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 39,894千円 計 43,399千円	
	分析結果（B/C）	6.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>しんもとじげやま</small> 新元重山756 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>新元重山756地区は広島県神石郡神石高原町の高梁川上流に位置する新元重山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 0.30ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	1,876千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 530千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 7,979千円 計 8,509千円	
	分析結果（B/C）	4.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	こころやま 木頃山717 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>木頃山717地区は、広島県府中市の矢多田川上流に位置する木頃山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 1.36ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	3,390千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,381千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	27,926千円
	計	31,307千円	
	分析結果（B/C）	9.23	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	小田山 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>小田山559林班外地区は、広島県東広島市の黒瀬川上流に位置する小田山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨等により倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、干害の防備等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 6.56ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	15,417千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 21,870千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 17,952千円 計 39,822千円	
	分析結果（B/C）	2.58	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{かぶとやま} 甲山744 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>甲山774林班地区は、広島県福山市の小田川上流に位置する甲山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 4.00ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	17,190千円	
	総便益（B）	15,408千円	
	水源かん養便益	15,408千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	89,762千円	
	計	105,170千円	
	分析結果（B/C）	6.12	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業計画期間	平成17年度(1年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	まつながわ 松永川 (福井県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署
事業の概要・目的	<p>松永川地区は、福井県小浜市の松永川上流に位置する池河内国有林を対象としている。</p> <p>当地区は、獣害により植生が減退、裸地化が進行しており、降雨融雪により表土の流出が著しい状態である。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮に関する要請が高い。</p> <p>本事業は、崩壊地の拡大防止や不安定土砂移動を抑止し、下流域の保全並びに水土保全機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 1.22ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	33,654千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	16,565千円
		山地保全便益	119,166千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	135,731千円	
	分析結果(B/C)	4.03	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 裸地化した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業計画期間	平成17～18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>ひがしやま</small> 東山 (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>東山784地区は広島県神石郡神石高原町の高梁川上流に位置する木頃山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 1.87ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	17,086千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	6,545千円
		山地保全便益	41,332千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	47,877千円	
	分析結果(B/C)	2.80	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業計画期間	平成17～18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	だい に ひ な やま 第2ヒナ山 (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>第2ヒナ山地区は広島県甲奴郡総領町の江の川上流に位置するヒナ山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨等により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去並びにそれを利用した筋工と植栽により、山腹崩壊の発生を防止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 3.07ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	25,518千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	9,449千円
		山地保全便益	67,855千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	77,304千円	
	分析結果(B/C)	3.03	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保持機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業計画期間	平成17～18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	^{くがやま} 久賀山780 (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>久賀山780林班地区は、広島県福山市の小田川上流に位置する久賀山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨等により倒木被害が発生し、山腹崩壊の恐れがある。また、水源のかん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去と植栽により、山腹崩壊箇所の拡大を防止し、下流域の保全並びに水土保全機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 6.16ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	18,861千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	10,501千円
		山地保全便益	66,307千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	76,808千円	
	分析結果(B/C)	4.07	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため当事業の実施が必要である。 ・有効性：事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策 (国有林)	事業計画期間	平成17～18年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>ほぎやまみなみ</small> 秋山南 (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>秋山南地区は、広島県府中市の矢多田川上流に位置する秋山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、大雪、豪雨により立木の折損、倒木被害が発生し、山腹崩壊箇所の拡大がみられる。また、水源のかん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、被害木の除去と植栽により、山腹崩壊箇所の拡大を防止し、下流域の保全並びに水土保全機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 植栽工 3.00ha</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	36,076千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	9,233千円
		山地保全便益	66,307千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	75,540千円	
	分析結果(B/C)	2.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 被災した森林の整備により水源かん養・山地災害の防止等の水土保全機能の持続的・効果的な発揮を図るため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	環境防災林整備（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	^{すみよしやま} 住吉山 （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>住吉山地区は、京都市西部に位置する住吉山国有林内の地区を対象としている。 当地区は、豪雨による溪流の荒廃により崩壊土砂が不安定に堆積している。また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。 本事業は、不安定土砂の移動を抑止し、下流域の保全並びに水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	5,769千円	
	総便益（B）	水源かん養便益 4,809千円 山地保全便益 千円 環境保全便益 千円 災害防止便益 4,769千円 計 9,578千円	
	分析結果（B/C）	1.66	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば流下する恐れがあり、下流域の保全等水土保持機能の発揮のため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により森林の機能発揮が図られ、水源かん養機能の向上など下流域の保全等が図られることから事業の有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林整備により森林の持続的・効果的機能発揮が図られ、水源かん養・山地災害の防止等効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成22年度（5年間）				
事業実施地区名 （都道府県名）	北山 （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理署 愛媛森林管理署				
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛媛県東部に位置し、地形が急峻で脆弱な地質であり、平成16年の台風により山腹崩壊が発生し、崩壊土砂の流出や不安定土砂が多量に堆積している、このため、崩壊地の復旧整備等を実施し、水土保持機能の維持、向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>溪間工</td> <td>9基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>2.03HA</td> </tr> </table>			溪間工	9基	山腹工	2.03HA
溪間工	9基						
山腹工	2.03HA						
費用対効果分析	総費用（C）	228,916千円					
	総便益（B）	水源かん養便益	37,355千円				
		山地保全便益	千円				
		環境保全便益	千円				
		災害防止便益	1,469,586千円				
		計	1,506,941千円				
	分析結果（B/C）	6.58					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念され、水土保持機能の維持、向上のためには当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、崩壊地の復旧や溪床に堆積する土砂の安定が図られ、水土保持機能が維持、向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 						

事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）	事業計画期間	平成17年度～平成20年度（5年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>くろそんやま</small> 黒尊山 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理署 四万十森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知県西部、四万十川上流域に位置し、豊かな森林空間を活用しての学習や憩いの場として利用されており、保安林における環境保全機能の高度発揮、充実を図ることと併せて、過密化した保安林を整備することにより公益的機能を発揮するため、事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>474HA</td> <td>溪間工</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>歩道整備</td> <td>4.5Km</td> <td>作業施設</td> <td>2基</td> </tr> </table>			森林整備	474HA	溪間工	2基	歩道整備	4.5Km	作業施設	2基		
森林整備	474HA	溪間工	2基										
歩道整備	4.5Km	作業施設	2基										
費用対効果分析	総費用（C）	187,383千円											
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,135,398千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>2,454,873千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,590,271千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,135,398千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	2,454,873千円	計	3,590,271千円
	水源かん養便益	1,135,398千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	2,454,873千円												
計	3,590,271千円												
分析結果（B/C）	19.16												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林のもつ生活環境、保健休養等の環境保全機能に対する高度発揮が強く求められていることから当事業の実施は必要である。 ・有効性： 当該事業の実施により、保安林の機能を多目的かつ高度に発揮できることから有効性は認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種、工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。 												

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	こぼだけちく 古場岳地区 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、佐賀県と福岡県境の雷山から三瀬峠に至る山地の南側斜面の嘉瀬川源流域に位置し、流域の地形は放射状となっており、水源かん養保安林に対する期待が大きい箇所である。</p> <p>これまでの台風の襲来と集中豪雨等により、奥地森林では多数の山腹崩壊が発生し森林の荒廃が進行した。</p> <p>また、計画地の北山流域は、山地災害危険区域に指定されており、過去に治山ダム群が施工されているが、現在は満砂状況となっている。</p> <p>このような状況から、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあるため、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,462	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	1,916	千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	25,375	千円
	計	27,291	千円
	分析結果（B / C）	2.03	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かわちやまちく 河内山地区 （佐賀県）	事業実施主体	九州森林管理局 佐賀森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、佐賀県と福岡県の県境にある九千部山と石谷山に至る稜線の東向斜面に位置し、山頂部は緩斜面であるが中腹部は急勾配となっている。</p> <p>平成3年の台風の襲来、平成5、11年度の集中豪雨で奥地山間部に多数の崩壊地が発生し、森林の荒廃が進行したため保安林機能が低下した。</p> <p>このため、当該流域の渓床内には、山腹崩壊等で流出した不安定土砂が多量に堆積しており、今後の降雨等でこれらの不安定土砂が下流域へ流下し、保全対象等に被害を与える恐れがあることから、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,192	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	2,339	千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	106,866	千円
	計	109,205	千円
	分析結果（B / C）	5.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～18年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かいさくちく 開作地区 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長崎県と佐賀県の県境にある国見岳から南部にのびる栗ノ木峠の西側斜面に位置し、地質が脆弱な堆積物で形成されているため、多数の山腹崩壊地が点在し森林の荒廃が著しい箇所である。</p> <p>平成14年9月の集中豪雨では、奥地の森林で山腹崩壊が発生し、溪床の多量の不安定土砂が下流域へ流下し、農業用取水施設に被害を与えた。</p> <p>今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が再び下流域へ流下し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	50,148	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	23,047	千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	314,807	千円
	計	337,854	千円
	分析結果（B / C）	6.74	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）		事業計画期間	平成17～20年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	きゅうらばるちく 久良原地区 （長崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長崎県大村市の北東部に位置し、下流域にはかんがい、上水道の確保等の多目的に利用されている萱瀬ダムがある。地形は、急峻で特に稜線部は峻険となっている。</p> <p>地域全体は水源かん養保安林であるが、崩壊地が散在しているとともに林分が過密化しているため保安林の水土保全機能が著しく低下しており、表土流出による崩壊の恐れがあることから、集中的に本数調整伐等の森林整備を実施し、保安林の水土保全機能を回復させる必要がある。</p> <p>このため、治山施設の設置と併せ、水土保全機能が低下した保安林の森林整備を計画的かつ効率的に図るために保安林管理道を開設するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">保安林管理道 2,900m</p>			
費用対効果分析	総費用（C）		128,756 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	179,782 千円	
		山地保全便益	141,668 千円	
		環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円		
	計		321,450 千円	
	分析結果（B / C）		2.50	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林整備等の遅れによる森林の荒廃が進行し、水土保全機能が低下したことから山腹崩壊等が懸念されており、治山施設の設置と併せた森林整備の計画的かつ効率的な実施を図るため、当事業が必要である。 ・ 有効性： 当事業の実施により、効率的な治山施設の設置及び維持管理と森林整備の実施で荒廃森林の復旧が促進され、水土保全機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、多種事業の実施・管理にも期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおほしやまちく 大星山地区 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、対馬上島のほぼ中央部の大星山の南側斜面に位置し、山頂付近は急峻な地形を呈している。</p> <p>平成10年8月の集中豪雨では、奥地森林で崩壊地が発生し、山腹斜面から流出した不安定土砂が御岳林道まで流下し被害を与えた。</p> <p>奥地の森林では、森林の荒廃による保安林機能が低下しており、溪床内には現在も多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、今後の降雨等で再び下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,154	千円
	総便益（B）		
	水源かん養便益	9,531	千円
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	46,818	千円
	計	56,349	千円
	分析結果（B / C）	2.66	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かやげちく 萱瀬地区 （長崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 長崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、長崎県大村市の北東部の多良山系の南西斜面に位置し、地質は第四紀の火山岩、安山岩、玄武岩等の基岩からなっている。地表面はこれらの風化物で覆われているために豪雨等に弱く、奥地森林では多数の山腹崩壊地が発生し、多量の不安定土砂が溪床に堆積し森林の荒廃が進行している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.09 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,096 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	2,729 千円	
	山地保全便益	21,690 千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	千円	
	計	24,419 千円	
	分析結果（B / C）	2.42	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ふかばちく</small> 深葉地区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、熊本県北東部の菊池水源の西側に位置し、地形は、全般に急傾斜地となっている。また、阿蘇火山の噴出物で覆われた脆弱な地質であるため、山腹崩壊地が多く、溪床内には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">溪間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	20,192	千円
	総便益（B）	1,578	千円
	水源かん養便益		
	山地保全便益		千円
	環境保全便益		千円
	災害防止便益	92,392	千円
	計	93,970	千円
	分析結果（B / C）	4.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	水源流域広域保全整備（国有林）	事業計画期間	平成17～21年度（5年間）								
事業実施地区名 （都道府県名）	しらがだけちく 白髪岳地区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署								
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、熊本県と宮崎県の県境にある球磨川支流、免田川上流域の白髪岳周辺で、下流域には、農業等の利水等の多目的に利用に建設された清願寺ダム等があり、あさぎり町免田地区等の水源地として重要な位置にあり、水源かん養の森林の造成が推進されている地域である。</p> <p>しかし、近年の度重なる台風等の襲来で山腹崩壊地が多数発生し、森林の被害、崩壊土砂の流出が著しくなっている。</p> <p>このため、山腹崩壊地及び不安定土砂が堆積している渓流域の整備と森林整備等を総合的に実施し、水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">渓間工</td> <td style="text-align: center;">8 基</td> <td style="text-align: center;">山腹工</td> <td style="text-align: center;">5 ha</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">管理車道</td> <td style="text-align: center;">1,000m</td> <td style="text-align: center;">森林整備</td> <td style="text-align: center;">234 ha</td> </tr> </table>			渓間工	8 基	山腹工	5 ha	管理車道	1,000m	森林整備	234 ha
渓間工	8 基	山腹工	5 ha								
管理車道	1,000m	森林整備	234 ha								
費用対効果分析	総費用（C）	445,182 千円									
	総便益（B）										
	水源かん養便益	129,942 千円									
	山地保全便益	1,408,539 千円									
	環境保全便益	215 千円									
	災害防止便益	475,031 千円									
	計	1,538,696 千円									
	分析結果（B / C）	3.46									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、渓床に堆積する土砂の安定及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 										

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	うちたにちく 内谷地区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、熊本県の五木村北東部の九州中央山地に位置し、球磨川支流、川辺川の中流域にある。地質は、中生代の四万十層群に属する砂岩、頁岩の基岩で構成され、地質構造が複雑な破砕帯構造を含んでいるため、森林の表層斜面が崩れやすく、多数の山腹崩壊地が点在し、溪床には多量の不安定土砂が堆積しており森林の荒廃が進行している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.12 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,615 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,056 千円
		山地保全便益	40,181 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	44,237 千円	
	分析結果（B / C）	4.60	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひらざるちく 平鶴地区 （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、大分県と福岡県の県境にある英彦山から犬ヶ岳に至る稜線の南東斜面で、山頂部には急峻な露岩地が見られる。</p> <p>昭和56年の集中豪雨で山腹崩壊による不安定土砂が下流域へ流下し、集落に大きな被害をもたらした。その後、集中的に治山ダムが設置されているが、平成3～5年の相次ぐ台風の襲来で再び山腹崩壊地が発生し、流域内には多量の不安定土砂が堆積した。</p> <p>既存の治山ダム群は、満砂状態となっており、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、再び下流域へ流下する恐れがあることから、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	21,154 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,413 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	42,881 千円
		計	44,294 千円
	分析結果（B / C）	2.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成17年度（1年間）	
事業実施地区名 （都道府県名）	おおうちちく 大内地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署	
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県北部の東臼杵郡東郷町の耳川に合流する坪谷川上流の尾鈴山の北側斜面に位置し、平成15年5月の台風4号の襲来で山腹崩壊が発生し、溪床の不安定土砂が流木を巻き込みながら流下し、直下を横断する多武ノ木林道を埋没する被害となり、現在でも、溪床内には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>				
費用対効果分析	総費用（C）	20,192 千円			
	総便益（B）	水源かん養便益	6,362 千円		
		山地保全便益	千円		
		環境保全便益	千円		
		災害防止便益	127,830 千円		
		計	134,192 千円		
	分析結果（B / C）	6.65			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 				

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くろにたみたてちく 黒仁田見立地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県日之影町の北部に位置し、九州山脈の傾山を分水嶺とした水源かん養保安林となっている。地質は、下流域が古生層の砂岩、粘板岩等の基岩であるが中腹部以上は第三紀の流紋岩、安山岩等が重なり合っている複雑な構造と地帯となっている。</p> <p>平成5年の集中豪雨と平成10年の台風10号により、奥地森林の人工林地内では多数の山腹崩壊が発生して森林の荒廃が進行し、渓流域には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.16 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	19,231 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	6,656 千円
		山地保全便益	49,747 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	56,403 千円	
	分析結果（B / C）	2.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	生活環境保全林整備（国有林）		事業計画期間	平成17～20年度（4年間）											
事業実施地区名 （都道府県名）	はまやまちく 浜山地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署											
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県中部を流れる一ツ瀬川河口北部の日向灘に面した沿線の潮害防備保安林及び保健保安林であり、宮崎市内に近接していることから県と町のレクリエーション施設等があり、多くの利用客が訪れる保健休養の場として利用されている。</p> <p>しかし、近年の相次ぐ台風の襲来と潮害により林内の植生状況が衰退し、保安林機能の低下が著しくなっている。</p> <p>このようなことから、潮害防備機能の維持及び保健休養機能の高度発揮のため、森林整備及び歩道等の施設を整備し、治山効果と保健効果を兼ね備えた保安林を整備することを目的として事業に着手するものである。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">管理歩道</td> <td style="padding-right: 20px;">1,100 m</td> <td style="padding-right: 20px;">防護柵</td> <td colspan="2">1,000 m</td> </tr> <tr> <td>森林整備</td> <td colspan="4">69 ha</td> </tr> </table>					管理歩道	1,100 m	防護柵	1,000 m		森林整備	69 ha			
管理歩道	1,100 m	防護柵	1,000 m												
森林整備	69 ha														
費用対効果分析	総費用（C）		111,672 千円												
	総便益（B）	水源かん養便益	279,578 千円												
		山地保全便益	223,936 千円												
		環境保全便益	40,678 千円												
	災害防止便益	千円													
		計	544,192 千円												
	分析結果（B/C）		4.87												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 宮崎市等の市街地に近接し、潮害防備保安林としてだけでなく、地域住民の保健・休養・スポーツ等の保健休養の場として活用されており、潮害防備機能の維持及び保健休養機能の高度発揮を図るために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、潮害防備機能の維持及び地域住民を含む多くの人々が訪れる保健休養の場としての利用が図られ、事業の有効性が認められる。 ・効率性： 計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 														

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おすずちく 尾鈴地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県高鍋町を河口域とする小丸川中流域の木城町北部の板谷地域に位置し、地質の大部分は、古第三紀から中生代にかけての四万十層群が広く分布しており、山腹斜面が崩壊し易い脆弱な表層で構成されている地域である。</p> <p>平成5年の集中豪雨では、奥地森林で多数の山腹崩壊地が発生したため多量の不安定土砂が流出し、下流域の林道等に被害を与えた。</p> <p>また、森林の荒廃と渓流域の不安定土砂の堆積が著しい地域である。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">山腹工 0.09 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,135 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,047 千円
		山地保全便益	33,839 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	37,886 千円	
	分析結果（B / C）	4.15	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	保安林整備促進（国有林）		事業計画期間	平成17～21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	さどわらちく 佐土原地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県宮崎市の大淀川河口域北部の日向灘に面した海岸沿いに位置し、シーガイア、宮崎フェニックスリゾート等の大型レジャー施設が隣接しており、年間を通じて多くの利用者が利用している地域である。</p> <p>しかし、近年の台風等の襲来や病虫害の発生により、林帯の衰退が進行し無立木地、疎林地が発生し、保安林機能の低下が著しくなった。</p> <p>このため、病虫害被害木等の被害木駆除や本数調整伐、植栽工等の森林整備を実施し、健全な保安林機能を持った林帯の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 静砂垣 1,000m、 森林整備 197ha</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	133,555 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	424,769 千円	
		山地保全便益	341,047 千円	
		環境保全便益	73,515 千円	
		災害防止便益	千円	
		計	839,331 千円	
	分析結果（B / C）	6.28		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 台風等の襲来や病虫害により、林帯の衰退が著しく進行したため、このまま放置しておくことと保安林機能の低下が懸念されることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、高波、波浪等の被害による保安林の林帯の衰退が防止され、保安林の公益的機能の維持・向上が図られることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やはすたけ 矢筈岳地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県国富町の釈迦岳から法華岳薬師寺に至る稜線の南斜面に位置し、直下には大川原林道が横断しており、下流域には小田爪集落や県道360号線が縦走している。地質は、中生代の四万十層群で占められ、基岸は節理に富んでいるために崩れやすく縦横浸食が著しく進行している。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で、奥地森林では山腹崩壊が発生し、多量の不安定土砂が溪床内に堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	11,538 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	3,305 千円	
	山地保全便益	千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	96,024 千円	
	計	99,329 千円	
	分析結果（B / C）	8.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	はちくほちく 八久保地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県高岡町の大淀川支流の清武川流域に位置し、地形は谷沿いに一部急傾斜地も見られるが全体的に丘陵性で比較的緩やかな斜面となっている地域である。地質は古第三紀日南層群、新第三紀宮崎層群で長い年月の間に風化、破碎され固結度の乏しい表層で形成されている。</p> <p>このようなことから、降雨の度に山腹崩壊が発生し、森林の荒廃が著しく、渓床域には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.09 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,423 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	6,779 千円
		山地保全便益	54,923 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
		計	61,702 千円
	分析結果（B / C）	4.28	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	限界状態設計法等実証（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	たかはたちく 高畑地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署 都城支署										
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県都城盆地の南東部で日南市と柳岳と牛の峠に連なる山岳地帯の北斜面に位置し、地形は全般に急峻で、斜面は下降斜面～平衡斜面が多い。地質は古第三紀の頁岩、砂岩の互層であり、奥地森林では、表層斜面の滑落による崩壊地が点在しているため、不安定土砂が溪床内に堆積している。</p> <p>このような状況から、山脚の固定及び不安定土砂の流出防止を図る溪間工を設置し、災害を防止すると同時に、溪間工の新たな設計手法を導入することにより、工事コストの縮減、限界状態設計法等に基づく工事の現場における施工性、安全性等の検証を行い、技術基準、標準歩掛等に反映させ、今後の円滑な治山施設の整備と新たな設計手法の普及に資することを目的として実施するものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	22,115 千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>2,619 千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>139,385 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>142,004 千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	2,619 千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	139,385 千円	計	142,004 千円
	水源かん養便益	2,619 千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	139,385 千円												
計	142,004 千円												
分析結果（B / C）	6.42												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 新たな設計手法の導入により、現場工事におけるコスト縮減に取り組むため、施工性、安全性の検証を行い、技術基準、標準歩掛等に反映させ、円滑な治山施設の整備と新たな設計手法の普及のため、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業により、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定が図られると同時に、治山工作物の限界状態設計法等の現場工事におけるコスト縮減等が検証され、技術基準、標準歩掛等の検討及び治山技術の向上が図られることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、コスト縮減に資するための新たな設計手法による現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 												

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17～21年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	いでたにちく 井手谷地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署 都城支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県山之口町の東岳地域の日向灘へ流入する大淀川支流、東岳川の上流部の水源地域に位置し、地質は第三紀の砂岩、頁岩の互層からなり、地形は山頂部で急峻になっている。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で、奥地森林では、多数の山腹崩壊地が点在し、渓床域には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 3 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	53,159 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	3,522 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	158,116 千円
		計	161,638 千円
	分析結果（B / C）	3.04	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	さかくらちく 作鹿倉地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署 都城支署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県えびの市の川内川流域長江・池島川支流の白鳥川源流に位置し、地形は、緩やかな裾野状であり、地質は第四紀の火山砕屑物・安山岩からなり、古い溶岩流の上にスコリア質の火山噴出物が堆積している。</p> <p>平成8年の台風6号の襲来では、奥地の森林で多数の山腹崩壊地が発生し、渓流域の不安定土砂が土石流となって流下して道路決壊等の被害を与えた。</p> <p>このような状況から、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、再び下流域へ流下する恐れがあるため、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	17,308 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,001 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	101,495 千円
		計	103,496 千円
	分析結果（B / C）	5.98	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおやとりちく 大矢取地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県と鹿児島県の県境にある山神谷の下流域に位置し、地形は急峻で下降斜面の急傾斜地が多く、起伏が激しい地形となっている。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で、奥地の森林が荒廃しており、山腹崩壊地の発生による多量の不安定土砂が流域内に堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	17,308 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	1,955 千円	
		山地保全便益	千円	
		環境保全便益	千円	
		災害防止便益	88,762 千円	
		計	90,717 千円	
	分析結果（B / C）	5.24		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおひらちく 大平地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県と鹿児島県の県境にある男鈴山の下流域に位置し、地形は全般に急峻で下降斜面の急傾斜地が多く、起伏の激しい地形となっている。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で、奥地の森林が荒廃しており、山腹崩壊地の発生による多量の不安定土砂が流域内に堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	14,423 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	6,796 千円	
		山地保全便益	千円	
		環境保全便益	千円	
		災害防止便益	42,005 千円	
		計	48,801 千円	
	分析結果（B / C）	3.38		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保全機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保全機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	海岸防災林（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひらやまちく 平山地区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県南東部の鰐塚山から柳岳の山系を分水嶺とする広渡川の下流域に位置し、太平洋側の日向灘に隣接する海岸防災林である。</p> <p>海岸防災林事業を従来から実施してきたが、近年の台風等の襲来により、潮害防備保安林の沿岸部が侵食され、裸地部分も見受けられる。このまま放置しておくとも保安林の浸食が進行し、保安林機能が失われ、背後にある保全対象に被害が及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、海岸に消波工を設けて波浪による海岸線の侵食を防止するとともに保安林の維持造成を図るものである。</p> <p>主な事業内容 消波工 100m</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,846 千円	
	総便益（B）		
	水源かん養便益	3,690 千円	
	山地保全便益	2,634 千円	
	環境保全便益	千円	
	災害防止便益	128,893 千円	
	計	135,217 千円	
	分析結果（B / C）	4.69	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 近年の台風等の襲来により、沿岸部の侵食が著しく進行したため、このまま放置しておくとも保安林機能の消滅が懸念されることから、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、高波、波浪等の被害から保安林の林帯の浸食を防ぎ、保安林の公益的機能の維持・向上が図られることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）		事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおやとりちく 大矢取地区 （宮崎県）		事業実施主体	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、宮崎県と鹿児島県の県境にある山神谷の下流域に位置し、地形は急峻で下降斜面の急傾斜地が多く、起伏が激しい地形となっている。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で、奥地の森林が荒廃し、多数の山腹崩壊地が発生したため、多量の不安定土砂が流域内に堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.10 ha</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	10,577 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	2,909 千円	
		山地保全便益	28,880 千円	
		環境保全便益	千円	
		災害防止便益	千円	
		計	31,789 千円	
	分析結果（B / C）	3.01		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	保安林管理道整備（国有林）		事業計画期間	平成17～20年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひやみずちく 冷水地区 （鹿児島県）		事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県北西部の鶴田町の鶴田ダム右岸側に位置し、ダム湖畔の森林は、崩壊地が散在しているとともに過密化した林分が多く、そのまま放置しておくと水土保持機能が低下し、森林の崩壊、流木等が発生して下流域に被害を与える恐れがある。</p> <p>このため、保安林管理道を整備することにより、崩壊地等の復旧工事と本数調整伐等の森林整備等を総合的に実施し、保安林の水土保持機能の維持・増進を図るものである。</p> <p>主な事業内容 保安林管理道 2,600 m</p>			
費用対効果分析	総費用（C）	98,007 千円		
	総便益（B）	水源かん養便益	147,449 千円	
		山地保全便益	135,075 千円	
		環境保全便益	千円	
		災害防止便益	千円	
		計	282,524 千円	
	分析結果（B / C）	2.88		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林整備等の遅れによる森林の荒廃が進行し、水土保持機能が低下したことから山腹崩壊等が懸念されており、治山施設の設置と併せた森林整備の計画的かつ効率的な実施を図るため、当事業が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、効率的な治山施設の設置及び維持管理と森林整備の実施で荒廃森林の復旧が促進され、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、多種事業の実施・管理にも期待できることから効率性が認められる。 			

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	くまかくらちく 熊鹿倉地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県北西部の薩摩半島の阿久根市の北部に位置し、地形は一般的に丘陵性地形となっているが、谷添いは急峻となっている。地質は中生代の四万十層群で、砂岩、頁岩の互層で崩壊しやすい脆弱な岩質となっているため、台風等の襲来や集中豪雨の度に、奥地森林では、山腹崩壊地の発生による森林の荒廃が進行し、渓流域の浸食も著しくなっている。</p> <p>また、集水面積が広く流量も多いことから、渓床内には上流で発生した不安定土砂が多量に堆積しており、既設治山ダムは満砂状態となっている。</p> <p>このため、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	12,981 千円											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>4,067 千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>61,106 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65,173 千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	4,067 千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	61,106 千円	計	65,173 千円
	水源かん養便益	4,067 千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	61,106 千円												
計	65,173 千円												
分析結果（B / C）	5.02												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 												

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ふげちく 布計地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県と熊本県境の大口市の北部に位置し、地形は丘陵状の緩傾斜地となっている。地質は安山岩質の脆弱な性質を持っている。</p> <p>平成7年の集中豪雨では、奥地森林では多数の山腹崩壊地が発生し、森林の荒廃が進行している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.17 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,615 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,438 千円
		山地保全便益	41,026 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	45,464 千円	
	分析結果（B / C）	4.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひがしたにちく 東谷地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県薩摩半島の南東部の知覧町西部で、東シナ海に流れる万之瀬川の上流の支流麓川の上流域に位置する。地形は上昇斜面で渓流域では岩盤が露呈した急峻な地形となっている。</p> <p>平成14年8月の台風15号の襲来で上流奥地で山腹崩壊地が発生し、不安定土砂が下流域へ流出し被害を与え、現在も多量の不安定土砂が渓床内に堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ再び流下する恐れがあり、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	12,500 千円	
	総便益（B）	<p>水源かん養便益 7,784 千円</p> <p>山地保全便益 千円</p> <p>環境保全便益 千円</p> <p>災害防止便益 31,492 千円</p> <p>計 39,276 千円</p>	
	分析結果（B / C）	3.14	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ひぞえちく 日添地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県と宮崎県境を流れる川内川中流域に属する湯谷川流域に位置し、韓国岳西側の稜線部の西側斜面に位置している。また、安山岩を基岩として風化の激しい火山灰や火山礫で覆われた脆弱な地質のため、奥地森林では台風の影響や集中豪雨の度に山腹崩壊地が発生し、溪床内には不安定土砂が多量に堆積して森林の荒廃が進行している。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	24,038 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	5,429 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	100,492 千円
		計	105,921 千円
	分析結果（B / C）	4.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かわぞえちく 川添地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県と宮崎県境を流れる川内川中流域に属する湯谷川流域に位置し、九州の脊梁地帯である韓国岳西側の栗野岳の西側斜面に位置している。また、安山岩を基岩として風化の激しい火山灰や火山礫で覆われた脆弱な地質のため、奥地森林では台風の襲来や集中豪雨の度に山腹崩壊地が発生し、溪床内には不安定土砂が多量に堆積して森林の荒廃が進行している。</p> <p>このため、今後の降雨等により山腹崩壊地が拡大して、不安定土砂が下流域へ流下する恐れがあり、早期に山腹崩壊地の復旧整備、森林整備等を総合的に実施して保安林機能の維持・向上を図るものである。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.12 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	13,462 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,022 千円
		山地保全便益	36,643 千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	千円
	計	40,665 千円	
	分析結果（B / C）	3.02	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪流及び森林の荒廃の状況から、放置すれば崩壊地の拡大等が懸念されるため、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施により、崩壊地の復旧、不安定土砂の発生防止及び荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	みやたにちく 宮谷地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県と宮崎県の境を流れる安楽川の上流域に位置し、地形は全般的に穏やかな上昇斜面となっており、地質は、火山噴石物で覆われ、基岩の頁岩は風化が激しく、浸食に対する抵抗力が弱くなっている。</p> <p>近年の台風等の襲来や集中豪雨で奥地の森林荒廃が著しく進行し、多数の山腹崩壊地が発生し、流域の渓床内には多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、今後の降雨等で渓床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に渓間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容 渓間工 1 基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,269 千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	4,690 千円
		山地保全便益	千円
		環境保全便益	千円
		災害防止便益	89,770 千円
		計	94,460 千円
	分析結果（B / C）	5.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、渓床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び渓床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成17年度（1年間）										
事業実施地区名 （都道府県名）	よしだちく 吉田地区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 屋久島森林管理署										
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、鹿児島県熊毛郡上屋久町の宮之浦川支流白谷川の下流部に位置し、下流域には、保全対象である上屋久町の中心市街地がある。</p> <p>平成10年7月には、梅雨前線の停滞で記録的な集中豪雨に見舞われ、奥地の森林では、多数の山腹崩壊地が発生し、多量の不安定土砂が溪床内に流出し堆積した。</p> <p>このため、今後の降雨等で溪床内に堆積した多量の不安定土砂が、下流域へ流下する恐れがあり、早期に溪間工を施工し、山脚を固定するとともに不安定土砂の流出を防止して渓流域の安定を図るものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="text-align: center;">溪間工 1 基</p>												
費用対効果分析	総費用（C）	22,115 千円											
	総便益（B）	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">水源かん養便益</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">7,454 千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td style="text-align: right;">72,090 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">79,544 千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	7,454 千円	山地保全便益	千円	環境保全便益	千円	災害防止便益	72,090 千円	計	79,544 千円
	水源かん養便益	7,454 千円											
山地保全便益	千円												
環境保全便益	千円												
災害防止便益	72,090 千円												
計	79,544 千円												
分析結果（B / C）	3.60												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積する不安定土砂及び森林の荒廃状況から、放置すれば不安定土砂の流出等が懸念されるため、災害の防止、水土保持機能の維持・向上のために当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 当事業の実施による、山脚の固定及び溪床に堆積する土砂の安定により、崩壊地拡大の防止、荒廃森林の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性が認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用以上の効果も期待できることから効率性が認められる。 												